

會計法戰時特例中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

(七)

付託議案

- 會計法戰時特例中改正法律案
- 帝國鐵道會計法中改正法律案
- 所得稅法及地租法中改正法律案
- 國有財產法中改正法律案
- 國債關係事務簡捷化ニ關スル法律案

委員氏名

- | | |
|------|----------|
| 委員長 | 男爵深尾隆太郎君 |
| 副委員長 | 子爵裏松 友光君 |
| | 侯爵井上 三郎君 |
| | 侯爵四條 隆徳君 |
| | 伯爵堀田 正恒君 |
| | 子爵松平 親義君 |
| | 入江 貫一君 |
| | 三井清一郎君 |
| | 河田 烈君 |
| | 男爵島津 忠彦君 |
| | 黑田 英雄君 |
| | 西野 元君 |
| | 竹下 豐次君 |
| | 佐々木長治君 |
| | 柴田兵一郎君 |

昭和十八年十月二十七日(水曜日)午後四時二十四分開會

○委員長(男爵深尾隆太郎君) ソレデハ是カラ委員會ヲ開催致シマス、先ヅ大藏當局カラ御説明ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 本委員會ニ付託ニ相成リマシタ會計法戰時特例中改正法律案外四件ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、

會計法戰時特例中改正法律案特別委員會議事速記録第一號 昭和十八年十月二十七日

政府ニ於キマシテハ、去ル九月二十一日閣議ニ於テ決定ヲ見マシタ現情勢下ニ於ケル國政運営要綱ノ趣旨ニ基キマシテ、國內態勢ノ整備強化ヲ圖ル爲、行政機構ノ改革、行政事務ノ徹底的簡素化、其ノ他戰時下緊要ナル各般ノ施策ニ付キマシテ、其ノ具體化ヲ取急ギ、戦力ノ飛躍的増強ヲ圖ルコトヲ期シテ居ル次第アリマス、本委員會ニ付託ニ相成リマシタル會計法戰時特例中改正法律案外四件ノ法律案モ亦右ノ趣旨ニ基キマシテ提案セラレタノデアリマシテ、決戰下ニ於ケル會計事務、所得稅及田租徵收事務、國有財産關係事務並ニ國債關係事務等ニ付キマシテ、之ガ徹底的簡捷化ヲ圖リ、以テ人的及物的資源ノ節約ヲ圖ルコトトシ、決戰下行政ノ萬全ヲ期セムトスルモノデアリマス、先ヅ會計法戰時特例中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、會計法戰時特例中改正法律案提出ノ理由ハ本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、政府ハ支那事變ノ勃發以來昭和十二年勅令第五百八十四號、昭和十三年法律第十六號及之ニ基ク同年勅令第六十二號ノ制定ニ依リ、資金前渡、前金拂、概算拂又ハ隨意契約ヲ爲シ得ル範圍ヲ廣メ、大東亞戰爭トナリマシテカラ前述ノ法律及勅令ヲ吸收致シマシテ、會計法戰時特例及會計規則等戰時特例ヲ制定シ、前金拂又ハ概算拂ヲ爲シ得ル範圍ヲ擴張致シマシテ、戰時金融ノ圓滑ヲ圖リ、又陸海軍ノ出納官吏ノ辨償責任ノ認定ニ關シ必要ナル制度ヲ設ケマス等、戰

時ノ實狀ニ即シマシタル各般ノ措置ヲ講ジテ參タノデアリマス、然ル處現下決戰連續ノ時局ニ顧ミマシテ、行政運営ノ決戰化ヲ圖ル爲、戰時非常ノ措置ト致シマシテ豫算及決算ニ關スル事務ノ簡捷化ヲ圖ルコトトシ、豫算ノ形式ヲ成ルベク單純化シ、豫算ノ編成ヲ敏速容易ナラシメ、豫算ノ實行ヲ所謂機動的且效果的ナラシメマスト共ニ、決算事務ノ簡捷化ヲ圖ルノ措置ヲ講ズルコトト致シタノデアリマス、而シテ是等ノ措置ニ付キマシテハ、法律ノ改正ヲ要セズシテ處理シ得ルモノモアリマスルガ、次ニ申述ベマスル事項ニ付キマシテハ、法律ノ改正ヲ必要ト致スノデアリマス、先ヅ戰局ノ推移ニ伴フ各種事情ノ變化等ニ依リマシテ、補助ノ目的タル事業ノ進捗ガ已ムヲ得ズ遲延シ、其ノ他避ケベカラザル事故ノ爲、年度内ニ補助費ノ支出ヲ經ルコトガ出來マセストキハ、豫算ニ於テ明許ヲ得マシタ場合、其ノ他法律ニ定メアリマスル場合ノ外、之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得ルコトトスル必要ガアリ、次ニ現下ノ經濟事情ニ應ジマスル共ニ、契約事務ノ簡捷化ヲ圖リマスル爲、不動産賣拂以外ノ契約ニ付キマシテハ、會計法第三十一條ノ規定ニ拘ラズ指名競争ニ付シ、又ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得ルコトト致スノ必要ガアリ、又會計ニ關スル事務ノ簡捷化ヲ圖リマスル爲必要アルトキハ、一ノ會計又ハ勘定ニ屬シマスル特定ノ經費又ハ收入ヲ勅令ノ定ムル所ニ依リ、他ノ會計又ハ勘定ニ屬セシムルコ

トヲ得マスルト共ニ、此ノ場合ニ於キマシテハ豫算ノ定ムル所ニ依リ、當該會計又ハ勘定間ニ於テ必要ナル收支ノ調整ヲ爲スコトト致ス必要ガアルノデアリマス、次ニ帝國鐵道會計法中改正法律案ニ付御説明申上ゲマス、陸運ノ用ニ供スル車輛其ノ他ノ機械器具ノ製造、修理、加工等ノ事業ニ關スル監督、統制等ノ事務及ビ倉庫營業ニ關スル監督、統制等ノ事務ハ、從來商工大臣ノ管理ニ屬シテ居リマシタガ、自動車ノ製造ニ關スルモノヲ除クノ外、今回新タニ設置セラレマスル運輸通信省ニ於キマシテ之ヲ行フコトト相成リマシタル處、是等ノ事務ノ執行ニ必要ナル諸費用ハ、從來ノ鐵道、軌道其ノ他陸運ニ關スル監督等ノ諸費用ヲ帝國鐵道特別會計ニ所屬セシメテ居リマスノ同様ノ取扱ト致シマスノヲ適當ト存ゼラレルノデアリマス、而シテ之ガ爲ニハ帝國鐵道會計法第七條ヲ改正シ、前述ノ諸費用ヲ帝國鐵道特別會計ノ所屬ト致シマスト共ニ、同會計收益勘定ノ歳出トシテ支出スベキ旨ヲ規定スルノ必要ガアリマスル關係上、本法律案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス、次ニ所得稅法及地租法中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、國內決戰態勢ノ強化ニ伴ヒマシテ、各般ノ行政ニ互ッテ其ノ簡捷化ヲ圖ルコトハ愈々緊切ノ度ヲ増シテ參タノデアリマシテ、國民生活ニ極メテ密接ナル關係アル稅務行政ニ付キマシテモ、出來得ル限り簡素化シ、人的及物的資源ノ節減ヲ圖ルコトトシ、目下其ノ具體案ニ付研究

致シテ居ルノデアリマスガ、所得税法及地租法ニ關シテ差當リ適當ト認メラル、改正ヲ行フコトト致シタノデアリマス、先ヅ所得稅ニ付テデアリマスガ、從來甲種ノ配當利子所得ニ付キマシテハ、總テ支拂期日又ハ支拂ノ確定致シマシタ日ニ於ケル稅率ニ依リ、分類所得稅ヲ徵收シ來タノデアリマス、是ハ最近ノ如ク屢々稅率ノ改正アル時代ニ於キマシテハ、新稅率ニ依ルモノト舊稅率ニ依ルモノト區別シテ徵稅スルヲ要シマスル關係上、特ニ公社債ニ付キマシテハ利子ノ受領ヲ遲延スル向モアリマスノデ、此ノ場合ニ於キマシテハ、徵稅事務ハ極メテ煩雜ナルヲ免レナイノデアリマス、今回之ヲ改正致シマシテ、甲種ノ配當利子所得中公社債ノ利子ニ對スル分類所得稅ハ、實際ニ支拂ヲ受ケタル時ニ於ケル稅率ニ依リ課稅スルコトトシ、以テ徵收義務者ノ事務ノ簡捷化ヲ圖ルコトト致シタノデアリマス、次ニ地租法ニ付キマシテハ、二ツノ點ニ付キマシテ簡易化スルコトト致シタノデアリマス、第一ハ、田租ノ納期ハ現在一月及三月ノ二回トナツテ居ルノデアリマス、之ヲ二月一回ト致シタノデアリマス、田租ノ納稅者ハ二百五十餘萬ノ多數デアリマスガ、各人ノ納稅額ハ極メテ少額ノモノガ多イ現狀デアリマシテ、之ニ依リ納稅上及徵收上ノ手數省略ニ資スルコト大ナルモノアリト存ズルノデアリマス、第二ニ、小農耕地免租ニ關スル申請ハ、現在ハ毎年三月之ヲ提出スルヲ要スルコトトナツテ居ルノデアリマスガ、同一田畑ニ付テハ、一度提出スレバ、重ネテ之ヲ要シナイコトニ改正致シ、以テ申請者ノ手數ヲ簡易化セムトスルノデアリマス、次ニ國有財産法中改正

法律案ニ付キマシテ説明申上ゲマス、現在ノ國有財産法ニ依リマスレバ、毎會計年度間ニ於ケル國有財産増減總計算書及毎五年三月三十一日現在ノ國有財産現在額總計算書ヲ帝國議會ニ提出致シマス際ニハ、ソレノ其ノ添付書類ト致シマシテ、各省ノ國有財産増減報告書又ハ國有財産現在額報告書ヲ提出スルコトヲ要スルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ添付書類タル各省ノ國有財産増減報告書及國有財産現在額報告書ハ、ソレノ總計算書中ノ各省分ニ付キマシテ、其ノ詳細ヲ記載シテアルノデアリマスルガ、之ヲ調製スル爲ニハ多大ノ人手ト資料トヲ要スルノデアリマス、然ルニ今や戰局ハ愈々緊迫化シ、國家ノ總力ハ舉ゲテ之ヲ戰力ノ飛躍的増強ニ寄與セシムベキノ秋ニ立到ツタノデアリマス、仍テ茲ニ國有財産法第二十六條ニ關シ戰時下ニ於ケル特例ヲ設ケ、大東亞戰爭中及ビ其ノ終了後一年間ヲ限リマシテ、各省ノ國有財産増減報告書及國有財産現在額報告書ノ添付ハ之ヲ省略シ得ルコトトシ、以テ人的及物的資源ノ節約ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、次ニ國債關係事務簡捷化ニ關スル法律案ニ付キマシテ、其ノ提出ノ理由ヲ説明致シマス、本法案ハ内外重大ナル現時局ニ即應シ、一層國內態勢ノ強化ヲ圖ルノ要アルニ鑑ミマシテ、國債關係事務ニ於キマシテモ極力之ヲ簡捷化ヲ圖ラムトスルモノデアリマシテ、其ノ主ナル點ヲ御説明申上ゲマス、第一ハ、登錄國債ニ對スル記名證券ノ發行ヲ廢止セムトスルコトデアリマス、從來登錄國債ニ對シマシテモ、債權者ノ請求ガアリマス場合ニハ、記名證券ヲ發行シテ居ルノデアリマスルガ、國債ヲ登錄致シマ

シタ上ニ更ニ記名證券ヲ發行スルコトハ、徒ニ國債事務ヲ煩雜ナラシメルノミデアリマシテ、必ズシモ必要ナコトデハナイノデアリマスルシ、又斯カル登錄國債ノ方法ハ現在ノ處左程利用サレテ居ルマセヌノデ、今般明治十九年法律第三十四號ヲ改正シ、今後登錄國債ニ對シテハ記名證券ヲ發行スルコトヲ廢止セムトスルモノデアリマス、第二ハ、國債ノ元利金ニ付テハ、其ノ消滅時効完成シタル場合ニ於テモ之ガ支拂ヲ爲シ得ルコトトセムトスルコトデアリマス、國債ノ元利金ニハ概ネ十年及五年ノ消滅時効期間ガアルノデアリマシテ、從來政府ニ於キマシテハ、時効完成シタル國債ノ元利金ニ付キマシテハ、之ガ支拂ヲ爲サザル取扱ヲシテ參ツタノデアリマス、此ノ爲ニハ、有ラユル國債元利金ノ支拂ノ際ニハ、消滅時効ガ完成シ居レルヤ否ヲ調査シナケレバナラナイノデアリマシテ、年々國債發行額ガ増加スルニ伴ヒマシテ、日本銀行其ノ他ノ國債事務ガ増嵩シテ參ツテ居リマスル際、出來得ル限り國債元利拂事務ノ簡捷化等ヲ圖ルヲ適當ト認メタノデアリマス、以上ニ鑑ミマシテ、今般當分ノ内、有ラユル國債ノ元利金ニ付キマシテ、其ノ消滅時効ガ完成シタル場合ニ於キマシテモ、之ヲ支拂ヒ得ルコトト致サムトスルモノデアリマス、最後ハ大東亞戰爭ニ關スル一時賜金公債ノ發行ヲ廢止セムトスルコトデアリマス、昭和十五年以來大東亞戰爭ニ關スル一時賜金公債ハ登錄國債ト致シマシタル上、賜金受給者ニ對シ記名證券ヲ發行交付シテ居ルノデアリマスルガ、賜金受給者ガ多ク、又賜金公債ノ發行額ガ多額デアリマスル爲、記名式ノ賜金

國庫債券ノ印刷、發行及交付ニハ多數ノ人員及手數ヲ要シテ居ルノデアリマスノデ、昭和十五年法律第六十九號ノ改正ヲ行ヒ、當分ノ内大東亞戰爭ニ關スル一時賜金公債ハ之ヲ登錄國債ト爲サズ、無記名證券ヲ以テ交付シ得ルコトトシ、以テ之ガ發行交付ニ關スル事務ヲ簡捷化スルト共ニ、之ガ交付ノ迅速化ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、以上五件ノ法律案ニ付キマシテ何卒御審議ノ上速カニ御贊成アラムコトヲ御願ヒ申上ゲマス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) サウ致シマスト本委員會ニ付託セラレマシタ五件ノ法律案ニ付キマシテハ只今御説明ガゴザイマシタガ、先ヅ會計法戰時特例中改正法律案カラ順次御質疑ヲ願ヒマシテ、最後ニ一括シテ、御質疑ガ濟ンダ時ニ採決ヲ致シタイト存ジマス、先ヅ順序トシテ會計法戰時特例中改正法律案ニ付キマシテ御質疑ヲ願ヒマス

○三井清一郎君 私ハ此ノ會計法戰時特例ノ改正趣旨ハ只今ノ御説明デ能ク了承致シマシタガ、會計一般ニ付テハ或ハ實際ノ上ニ付テ既ニヤラレテ居ルカモ知レマセマスガ、併シ會計事務ノ簡素化ト云フコトガ今回ノ改正ノ主ナル理由ニナツテ居ルヤウデアリマス、從ツテ此ノ會計ニ付テ、尙此ノ戰時ニ、此ノ決算ヲ致ス人ガ、特別會計ニ付テ最後ノ報告ヲスル迄ニハ長イ期間ニ色々變化ガアルト考ヘマスルガ、之ニ關スル極ク大體ノ政府ノ御意圖ヲ伺ヒタイト思ヒマス、即チ今や支那事變發生以來五年、大東亞戰爭ニナツテ既ニ二年、是ガ總テ特別會計トナツテ、會計年度ハ此ノ戰爭ガ濟ム迄ガ會計年度ト解釋スルノガ至當ノヤウナ狀態ニ

アリマス、從テ議會ニ、此ノ決算ノ方ハ此ノ戰爭ガ濟マナケレバ報告ヲシナイト云フノデヤナイカト思ハレマスガ、斯ウ云フ長期ノ戰爭ニナツテ來マスルト、多額ノ經費ヲ使ツテ、殊ニ戰時ニ於テハ非常ナ困難ヲ感ズルニモ拘ラズ、月次決算ニ付テ検査院ノ書面検査ヲ受ケル、又検査院モ戰時ニ於ケル實況ヲ查察シテ、戰時ノドウシテモ已ムヲ得ザル事情ニ付テハ能ク御考慮ヲシテ居ラレト云フコトモ伺ヒテ居ル、是ハ誠ニ結構ナコトナシマスガ、過去ノ如ク月次決算ニ付テ検査院ガ始終検査ヲシテ、書面検査デ一通リ検査ヲ結了シテ居ルガ、議會ノ決算監督權カラ見マスルト、ドウシテモ或時期ニ於テ斯ウ云フ長イ戰爭ニハ、特別會計ヲ長イ期間ヲ待タズニ、二年ナリ三年ナリ、或ハ毎年トカ、簡單ナ期間ニ對スル結果ヲ報告シテ國民ニ經費ノ使用ニ付テ大ナル安心ヲ與ヘルノガ必要デヤナイカト云フコトモ考ヘルノデアリマス、又是ガ即チ會計業務ノ簡素化ニナリハセスカ、斯ウ考ヘマスガ政府ノ御所見ハ如何デスカ

○政府委員(谷口恒二君) 臨時軍事費ノ會計ガ戰爭ノ終局迄決算ヲ致サナイヤウナ建前ニナツテ居リマスノニ付キマシテ、只今ノ御話ハ誠ニ御尤モデアアルト思フノデアリマス、御承知ノ通りニ我ガ國ノ會計法ノ検査ニ付キマシテハ會計検査院ニ於キマシテモ特別ノ經費ヲ要スルコトガアル譯デアリマシテ、特別ノ人員ヲ以チマシテ只今迄ハ現地ニ親シク參リマシテ、色々資料ヲ蒐メテ検査ヲ報告シテ參ッテ居ルノデアリマス、就キマシテハ途中ニ於テ實況ヲ報告スルト云フコトモ必ズシモ出來ナイコトデアアルマイト云フヤウニ我々モ考ヘマシテ、又先

年貴族院ニ於キマシテモ、途中デ大體ノ狀況ヲ報告スルト云フヤウナコトガ宜クハナイカト云フ風ナ御意見モアリマシタコトニ鑑ミマシテ、途中デ報告致シマスルコトモ研究致シテ見タノデアリマスガ、併シナガラ其ノ結果ト致シマシテハ、遺憾ナガラ矢張り報告ヲ致スコトヲ適當トシナイト云フヤウナ關係ニ相成ッテ居ッタノデアリマス、其ノ理由ト致シマスル所ハ、大體二ツアッタト記憶シテ居ルノデアリマス、一ツハ矢張り決算報告トシテ纏メマスルコトノ戰時中ニ於ケル煩瑣ト申シマスルカ、ソレニ非常ナ手數ガ掛ルト云フコトガ一つノ點デアリマス、第二點トシテ學ガレマシタル點ハ、之ヲ決算ト云フヤウナ形ニ於キマシテ相當明細ニ報告シテ、公ニ報告致シマスルコト云フコトハ、事變以來未ダ大東亞戰爭ニ入リマシテカラノ軍事ニ關スル我ガ國ノ經費ノ狙ヒ方ノ跡ヲ列國ニモ見セル、知ラセルト云フヤウナ結果ニ相成リマシテ、戰略上好マシカラザルコトデアルト云フコトデアッタノデアリマス、此ノ二ツノ點ニ依リマシテ前議會ニ於テモ其ノ企テヲ實行スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、今後ニ於キマシテモ、度々ノ仰セデモアリマスルシ、御尤モデアリマスルノデ、一旦ハ企テタノデアリマスルガ、其ノ事ヲ實行スルニ付テハムヅカシイノデアアルマイカト思フノデアリマス、大體ノ事情ハ左様ナ次第デアリマス

○三井清一郎君 事務的ニ或ハ防諜上下ウシテモ出來ナイト云フ御話デ已ムヲ得ヌコトトハ考ヘマスガ、併シ此ノ戰ガ長期デアルト云フコトハ何人モ考ヘテ居ルシ、又政府モ三十年デ濟ムカ、百年デ濟ムカト云フヤウニ御考ニナツテ居ルカラ、其ノ間何等ノ議會ノ監督權ノ作用ガ及バナイト云フコトハ如何デアラウカト云フ疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、併シハ疑問トシテ、此ノ邊デ止メテ置キマス、次ニ私ハ、會計ノ戰時特別ハ最モ必要ナコトデアリマシテ、既ニ昭和十七年ニ戰時特別ト云フモノガ法律ニナツテ、會計法ノ一部ノ特別ヲ開イテ居ルノデアリマスガ、今回ソレノ中ニ若干ノ條文ヲ挿入シテ、益々事務ヲ簡捷ニシ、戰ノ目的ヲ達成スルト云フ御趣意ハ誠ニ結構ト思ヒマス、併シ會計ノ方ハ一方カラ言フト、斯ウ云フ戰時ニナレバナル程、能ク考ヘテ行カナケレバナラス、大ナル經費ニ付テ國民ニ安心ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ一ツノ何ト謂ヒマスカ、思想的ニ考ヘテ行クト注意ガ必要ト思フノデアリマス、從ッテ餘リニオツ放シニシテシマツテ、ドッチデモ各省大臣ガ勝手ニ出來ル、斯ウ云フヤウニシテシマツタノデハ、會計法ノ根本ノ精神ト云フモノハ既ニモウ崩レテ、全ク總テヲ解イタト云フヤウナ形ニシテシマツテモ如何ト思フノデアリマス、唯ハ私ハ憂慮スルガケデアリマシテ、趣旨ニ於テハ非常ニ宜イコトデ賛成致シテ居ルノデアリマスガ、唯斯ウ云フ憂慮ガ多クノ人ニ出ヤセヌカト云フ感ジヲ持ツノデアリマス、條文ノ細カイ點ニハ入りマセヌガ、大體ニ於テ例ハバ繰越明許ヲ無暗ニ擴ゲル、或ハ契約ヲ勝手ニ出來ルト云フヤウニ餘リ緩メ過ギタ結果、議會デハ殆ド事前監督ト云フヤウナコトハ行ハレナイ、事後ノ監督ニ付テモ、今決算ノコトニ付テ御話ガアツタヤウニ監督ハ出來ナイ、丁度各省大臣ニ總テヲ御委セスル、是ハ最モ好イ方法デアアルカモ知レマセヌガ、併シ我國ノ會計立法ト云フモノハ、斯

ウ云フ大キナ金ヲ使ヘバ使フ程、一ツハハッキリ締メル所ハ締メテ、無駄ナ金ヲ使ハセヌ、國民ニ安心ヲ與ヘルト云フコトガ又一方必要ナコトデアアル、斯ウ考ヘマスル若干ノ憂慮ナキ能ハズナンデス、斯ウ云フヤウニオツ放シニナルコトハ……實ハ賛成ナンデス、併シナガラサウ云フヤウナ一方ニハ憂慮ノ點モ起ルノデアリマスカラ、是ハ十分御研究ニナツタコトト思ヒマスガ、何カ御話シ下サルコトガアツタナラバ、御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 會計制度ノ例外ヲ作リマスルコトニ對スル感想ハ、大體三井サンノ只今仰セニナリマシタコトト我々モ同ジヤウナ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、會計制度ハ之ヲ嚴正ニ守ッテ行カナケレバナラス、ソレガ我々ノ務デアルト云フコトモ考ヘテ居ルノデアリマス、又經費ノ額ガ今迄ニナイ多額ニ上リマシタニ付キマシテハ、一層サウ云フ收支ニ付キマシテ嚴正ヲ持シテ行クト云フコトヲ知ラシメルコトガ、國民ニ安堵ヲ與ヘル所以デアルト云フコトニ付キマシテモ、大體我々モ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、事變後會計法ノ特別ヲ設ケルト云フコトニ付キマシモ、甚ダ尻込ミト申シマスルカ、積極的ナ態度ハ執ラナイデ居ッタノデアリマシテ、出來ルダケ例外ハ少ク致シタイト云フコトデ只今迄進ンデ參ッタノデアリマス、事變ノ始マリマシテ後ニ於キマシテ、昭和十二年ニ勅令ヲ制定シテ稍々隨意契約ノ範圍ヲ廣メマシテ、又十三年ニ法律ヲ制定シテ、前金拂等ニ付キマシテ範圍ヲ廣メマシタガ、ソレモ出來ルダケ例外ヲ少ク致シタイト云フノデ、徐々ニ必要已

ムラ得ザルモノト認メラレモノニ付キマシテ例外ヲ認メマシテ參シタノデアリマシテ、矢張り例外ナシニ嚴守致シタイト云フ氣持ハ根本ニ於テハ堅ク守テ居ルノデアリマス、昭和十七年ニ至リマシテ戰時特例ト云フ法律ヲ制定スルコトニ相成ツタノデアリマシテ、十二年十三年ノモノヲ之ニ吸收整理致シマシタノデアリマスルガ、即チ是レ現行ノ會計法戰時特例デアリマスルガ、是ハ只今三箇條ゴザイマスルノハ、全部ガ陸軍又ハ海軍ニ關スル軍部ノ會計ノ規定デアリマシタ、兵馬倥傯ノ間ニ於キマシテ、ドウシテモ從來ノ會計法規デハヤッテ行ケナイト云フノヲ、兩三年研究致シマシタノガソコニ繼マツタヤウナ次第デアアルノデアリマス、今回提案致シテ居リマスルモノハ、必ズシモ陸軍又ハ海軍ニ關係致シマスルモノデハナイノデアリマシテ、其ノ他ノ各省ニモ關係ノアル事務デアアルノデアリマスルガ、補助費ニ付キマシテ定額繰越ノ範圍ヲ廣メナイト云フ點モ當今ニ於キマシテハ、第二豫備金ヲ以テ補助費ヲ出スト云フヤウナ場合ガ已ムラ得ザル場合ガ起キテ參リマシテ、繰越明許ヲ豫メ仰イデ置カナイモノモアルノデアリマス、又隨意契約ノ範圍モ固ヨリ廣メルコトヲ初メカラ好ムト云フ態度デハナカツタノデアリマスルガ、現今ニ於ケル物資、勞力、其ノ他ノ狀況カラ顧ミマシテ、一般人札ヲ致シマシテモ工事ヲ致シマシタリ、又所要ノ物品ヲ入手致シマシタリスルコトガ全ク困難又ハ不可能ニ相成リマシテ、已ムラ得ズ今回斯様ナ處置ニ出デムトスルモノデアリマシテ、會計ノ制度ニ對スル感想ハ大體只今仰セニナリマシタ通りデアリマシテ、從ヒマシテ此ノ法律ヲ將來

假ニ實施致シマスルヤウナコトニ相成リマシタ場合ニ於キマシテモ、精神ト致シマシテハ、只今御示ニナリマシタヤウナ所ニ則リマシテ、出來マスル限り時々狀況ノ報告ヲ受ケルト云フヤウナコトヲ致シマシテ此ノ便宜ヲ圖リマシテ、特例ヲ設ケマシタコトノ推移ハ十分ニ念ヲ入レマシテ監視シテ參リマシテ、會計制度ノ各省ニ於テ恣ニヤルト云フヤウナ結果ニ終ラナイヤウニ、立到ラナイヤウニ十分注意ヲ致シテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○黒田英雄君 第六條ノ規定デアリマスガ、「會計ニ關スル事務ノ簡捷ヲ圖ル爲必要アル」ト云フコトデアリマスガ、ドウ云フ場合ヲ御考ニナツテ居リマスデセウカ、多少斯ウ云フ場合ダト云フヤウナ例ヲ御示ヲ願ヘマスレバ幸ト思ヒマスガ……

○政府委員(谷口恒二君) ソレハ只今法律ノ様ナ措置ヲ講ジテ居ルノガアルノデアリマシテ、ソレガ只今仰セニナリマシタ例ニ當ルト思フノデアリマス、ソレハ郵便年金、簡易生命保險及郵便年金特別會計カラ通信事業ノ特別會計ヘ繰入ヲ致シマシテ、サウシテ通信事業特別會計デ簡易生命保險郵便年金ノ仕事ニ從事シテ居リマスルモノノ俸給及事務費ヲ支拂フト云フヤウナコトヲ法律デ只今致シテ居ルノデアリマス、即チ郵便年金、簡易生命保險ノ歳出ヲ通信事業ノ歳出トシテ處理致サセマシテ、ソレダケ其ノ必要ト致シマスモノヲ郵便年金、簡易生命保險特別會計カラ通信事業特別會計ヘ繰入致シマシテ、サウシテ郵便局ノ會計ニ關スル事務ヲ簡單ニスルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、ソレデ只今サウ云フコトヲ法律ニ依ッテヤッテ居リマスガ、將

來考ヘテ居リマスノハ、研究致シテ居リマスノハ、例ヘバ國民健康保險、船員保險、職員保險、是等ノ御承知ノ通り多數ノ特別會計ガゴザイマシテ、ソレガ厚生省ニ於テ一般會計デ支辨シテ居ル職員ト一緒ニ仕事致シテ居ル、厚生省ノ會計トシテハ色々特別會計ガ多數アル、一般會計ノ關係モアリマシテ、手數ガ非常ニ多イノデアリマス、將來研究ノ結果宜イコトニナリマスレバソレ等ノ特別會計ノ支辨シテ居リマスル職員ノ俸給、事務費等全部一般會計ノ歳出トスルコトニ致シマシテ、其ノ代リニ國民健康保險、職員保險、船員保險等ノ特別會計カラ一般會計ヘ所要ノ經費ヲ繰入ヲサセテ始末ヲ附ケル、斯様ナコトニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、例ト申シマスノハ左様ナ次第デアリマス

○黒田英雄君 二項ノ調整ト云フノハ今御話ノ意味ナノデアリマスカ、第六條ノ二項ニ規定サレテ居ル「必要ナル收支ノ調整ヲ爲スト云フノハ……

○政府委員(谷口恒二君) 第二項ニ於キマシテ豫算ノ定ムル所ニ依リ調整スルト申シマシタ、只今豫算ノ收支ノ調整ヲスルト云フコトヲ申シマシタノハ只今私ノ申シマシタコトニ當ルノデアリマス

○河田烈君 今ノニ關聯シテチヨット伺ヒタイノデアリマスガ、サウスルト是ハ、今ノ第六條ノ豫算ノ歳出權ハ別ニ取ラナケレバナラヌコトニナルノデスカ

○政府委員(谷口恒二君) 左様ニ考ヘテ居リマス

○河田烈君 サウスルト歳出權ハ何カ歳入支辨金カナンカノ形デアルノデスカ、改メテ豫算ヲ一々取ルコトニナルノデスカ

○政府委員(谷口恒二君) 新タニ豫算ヲ取ルト云フコトニ考ヘテ居リマス

○河田烈君 ソレデ豫算ヲ取ル機會ガアルトスレバ、法律ノ改正モ議會ノ協賛ヲ經ル機會ガアルノデゴザイマスネ

○政府委員(谷口恒二君) 御承知ノ通り、特別會計ノ歳出ハドウ云フモノデアアルカ列舉シテゴザイマス、ソレデ勅令デサウ云フコトヲ決メタイト云フ考デ居リマス

○河田烈君 矢張り豫算ハ取ラナケレバナラス、斯ウ云フコトニナル、唯單ニ特別會計ヲ個々ニ一ツツノ特別會計法ノ改正ヲシナイデ、ソレヲ一般的ニスル……

○政府委員(谷口恒二君) 左様デゴザイマス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 此ノ法案ニ付テ御質疑ハゴザイマセスカ

○三井清一郎君 此ノ第四條ノ補助費ト云フモノハ、一體年額ドレ位アリマスカ、私ハ補助費ト云フモノハ、今日ハ餘程減ッテヤセスカト云フ感ジヲ持ツテ居リマス

○政府委員(窪谷直光君) チヨット手許ニ資料ノ持合セガアリマセヌノデ、甚ダ申譯ナイノデアリマスガ、一般會計ニ於キマシテ二十億近ク確カアルノデヤナイカト思ヒマス

○三井清一郎君 二十億デスカ

○政府委員(窪谷直光君) チヨット正確ニ分リマセヌガ……

○三井清一郎君 序デデ宜シウゴザイマス

○西野元君 第六條ノ改正等ト關聯致シテ居リマスガ、此處ニハ直接出テ居リマセヌガ、又豫算モ十分拜見シテ居リマセヌガ、今回軍需省ガ出來マシテ、軍需品ニ關スル重大ナル任務ヲ遂行セラレヤウニ承知シ

テ居ルノデアリマスガ、官制モドウ云フ官制ニスルカ存ジマセヌガ、丁度此ノ第六條ノ趣旨ト同ジヤウナ意味ニ於テ、臨時軍事費所屬ノ軍需品ノ註文ヲ軍需大臣ハ發スル場合ニ、臨時軍事費ノ豫算ヲ使フトカ、或ハ何カサウ云フヤウナ御計畫ガアルノデアリマセウカ、或ハ臨時軍事費ニ屬スル歳出ヲ使フ場合ハ、何カ陸海軍大臣ガ軍需大臣ヲ自分ノ手足トシテ使フ譯ニ行カナイデセウガ、軍需省ニ屬スル官吏ヲ支出官トシテデモ使フ工夫デモアルデゴザイマセウカ、之ト思想ニ於テ相關聯シテ居ルヤウナ關係ノモノナンデアリマスカ、直接會計法ニハ關係ガナイノデアリマスガ、ドウ云フヤウニナリマスカ、今後サウ云フモノヲ詳シク伺フ機會ガ少イト思フノデ、此ノ場合ニチヨット同ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 今回ノ軍需省ニ於キマシテハ、其ノ官制ニ於キマシテ、軍需品ノ調辦ト云フコトヲ致スヤウナ案ニテ居ルノデゴザイマス、其ノ場合ニ於キマシテハ、只今仰セニナリマシタヤウニ、臨時軍事費ヲ軍需省ニ於テモ使フト云フコトニ大體致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、將來ニ於キマシテハ、臨時軍事費ヲ陸軍省、海軍省ニ於テノミナラズ、軍需省ニ於テモ使フコトニ相成ラウカト考ヘテ居リマス

○西野元君 サウ致シマス、官制ガ出テ居リマセヌカラ、今伺フ場合デモナイト思ヒマスルガ、詰リ今大藏省ノ御考デハ、軍需省ノ官制ガ出來レバ、軍需大臣ト云フモノハ、陸海軍大臣ト共ニ臨時軍事費ヲ其ノ所管トスルヤウナ權限ヲ持ツ官制ガ出來ルト云フ御豫定ト考ヘテ宜シウゴザイマス、

當然今出來テ居リマスル臨時軍事費ノ豫算ト云フモノハ、陸海軍省所管トナツテ今出來テ居リマスガ、アレガ更ニ軍需大臣ノ共同ノ所管ニ移ルヤウナ官制上ノ結果ニナルト云フコトト解釋シテ宜シウゴザイマス

○政府委員(谷口恒二君) 大體今ノ仰セノ通りデアリマス、今度ノ官制ニ於キマシテハ臨時軍事費ヲ軍需省ニ於テモ使ヒ得ルト云フコトニナル見込デアリマス、從ヒマシテ軍需品ノ調達以外其ノ調達ニ從事スル職員ノ經費ノ如キモノモ矢張臨時軍事費デ支辨スルト云フヤウナコトニモ相成ラウカト考ヘテ居リマス

○三井清一郎君 此ノ第四條ノ「補助ノ目的タル事業」ノ繰越トアリマスガ、此ノ條ガナクテモ、從來ハナイデヤツテ行ケタヤウニ考ヘテ居リマス、例ヘバ使ヘナイ場合ニハ、ソレダケノ其ノ年度ノ決算ニハ不用額ニナリマスガ、豫算要求ノ時ニ大藏省ト了解ヲ得テ、ソレダケノモノハ更ニ補助費ノ相當科目ニ豫算デ見積ツテ話ハ付ケテ來タト思ヒマスガ、ドウシテモ此ノ法律ヲ改メナクテハ是ダケノ支出ガ出來ナイト云フノデスカ、何カソレニ付テ從來ノヤリ方ニハ支障ガアルト云フ點ヲ御話シ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 補助費ニ付キマシテハ、御承知ノ通りニ明治四十四年ノ法律ガゴザイマシテ、公共團體ノ工事費ニ對スル補助ニ付キマシテハ、其ノ工事ノ完成ニ至リマスル迄、順次繰越シテ使フコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマス、然ルニ公共團體ニ對スル工事費ノ補助ト云フコトデナイ補助費ニ付キマシテ、矢張り其ノ必要ガ生ズルノデアリマス、此ノ場合ニ於

キマシテモ、豫メ繰越ノ明許ヲ戴イテ置クト云フコトモアルノデアリマスガ、最近ニ於キマシテハ色々物資ノ窮屈等ノ關係カラ物資ノ入手等ガムヅカシイ場合ガゴザイマス、第二豫備金カラ、例ヘバ防空ニ關スル施設ノ補助ヲ出スト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、是ハ繰越ノ明許ヲ豫メ戴イテ置クト云フコトモ出來マセヌ、サウ云フ防空施設等ニ付キマシテモ、豫メ豫定ヲ致シマシテ、ソレニ補助ヲ出シテ置キマシテモ、年度内ニナカナカ入手ガ出來ナイ、是ハ從來ノ工事費ノ補助ト云フヤウナ種類ノ補助費デモゴザイマセヌ、制度ト致シマシテハ、矢張り此ノ種ノ補助ニ對シテモ定額ノ繰越ガ出來ルヤウニ致シテ置キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスルノガ、改正ノ趣旨デゴザイマス

○三井清一郎君 其ノ趣旨ハ大凡ソ判斷ヲシテ居リマシタガ、サウ云フヤウナコトガ此ノ資料ノ不足ノ場合ニ一年デ済ムカ、二年デ済ムカ、三年繰越ガ繼續シテ行ケカ、分リマセヌガ、年々豫算デチャント切替ヘテ、ソレダケノ使ヘナカッタ必要ナ經費ヲ豫算デ認メテ行ケバ宜イデヤナイカト云フ氣ガスルノデアリマスガ、併シ繰越明許ニシテ置ケバ便利ダト仰シヤレバソレダ結構デス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 外ニゴザイマセヌカ、ソレデハ次ノ帝國鐵道會計法中改正法律案ニ移リマス、之ニ對スル御質疑ヲ願ヒマス

○河田烈君 此ノ會計法中改正法律案ニ付テ二三伺ヒタイコトガアリマスガ、直接關係ノナイコトニ互リマスルノデ、一ツハ伺ヒタイト思ヒマス、先ヅ一番初ニ伺ヒタ

イコトハ、第二番目ノ括弧ノ中ニ「臨港倉庫ニ係ルモノヲ除ク」トアル、臨港倉庫ト云フコトハ今迄法律命令其ノ他デ餘リ御目ニ掛ツタコトノナイ字句ノヤウニ思フノデアリマスガ、臨港倉庫トハ如何、臨港倉庫ノ定義ヲハッキリ御聽キシタイト思ヒマス、ドナタデモ宜シウゴザイマス

○政府委員(谷口恒二君) 臨港倉庫ト云フ文字ハ由來法令ニ餘リナイモノデアリマスガ、一應斯様ニ定義ヲ致シテ居ルノデアリマス、臨港倉庫トハ臨港地帯ニ於テ主トシテ海上運送ニ係ル貨物ノ保管ヲ爲ス倉庫ニシテ、運輸通信大臣ノ指定スルモノヲ謂フ、斯様ニ一應定義シテ居リマス

○河田烈君 今ノ臨港地帯ト云フコトデ、ソコニ又臨港ト云フ字ガ出テ來マシタガ、臨港地帯ト云フノハ海ノ港、海港ト云フコトニ飽ク迄捉ハレルノデアリマス、臨港地帯トハ我が國デハ多ク、税關通關ノ仕事ト云フノハ海港デ行ハレルガ、是ガ與地ニ於テ行ハレテモ税關ノヤウナ、通關ノ手續ヲスルト云フヤウナ場所ヲ、山ノ上ニアツテモ臨港ト斯ウ解釋スルノデスカ、矢張り臨港ト云フノハ海港ト云フ地域的ノ觀念ガ飽ク迄附纏フノデアリマス

○政府委員(谷口恒二君) 是ハ矢張り海港ト云フコトヲ主ニ致シテ居リマス、唯海岸ノ水面カラドレ位ノ距離迄ガサウ云フ臨港地帯乃至臨港倉庫ト云フ中ニ入ルカト云フコトニ付キマシテハ、距離ヲ主トシナイデ、海上運送ト云フ働ニ關係ノアル方面ハ、廣ク此ノ臨港地帯、臨港倉庫ト云フ方面ニ入レル趣旨デアリマス、但シ極端ナ例デアリマスルガ、山ノ中ニアルト云フノハ是ハ入レナイ考デアリマス、此ノ點ニ付キ

マシテハ、運輸通信大臣ノ指定スルモノヲ謂フト云フ所ニ相當ノ重點ヲ置イテ居ルノデアリマシテ、今回運輸通信省ガ出來マシテ、色々陸軍海軍ノ統合致シマス際ニハ、初メテコトデアリマスノデ、色々不都合モ生ズルカト考ヘラレルノデアリマスガ、運輸通信大臣ガ個々別々ニ、個々のニ指定スルコトニ依リマシテ、其ノ不都合ヲ救フテ行キタイト云フ大體ノ考デアリマス、尙稅關ノ手續ヲ要スル倉庫ニ付キマシテハ、運輸通信省ノ官制案ニ依リマスレバ、稅關關係ハ海運系統ノ方デ扱フト云フコトニナツテ居リマスノデ、其ノ關係カラ致シマシテモ、大體臨港倉庫ト云フコトニ指定相成ルモノデアルト云フコトニ解シテ居ルノデアリマス

○河田烈君 私ハ山ノ中ト云フノハ、殊更極端ニ御話シスル方ガ明確ニナルト思ッテ申上ダタノデ、例ヘバ稅倉庫ノ如キハ川ノ縁デアル、山デハナイガ相當奥地ニアル例ガ相當アルノデス、サウ云フヤウナ場合ニ、矢張り是ハ今ノ大藏次官ノ説明ニ依ルト、此ノ趣旨カラ見ルト、矢張り江戸川ノ奥ニアッテモ臨港トシテ指定セラレル場合ガ想像セラレルト思フノデアリマスガ、サウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 左様御想像戴キマシテ宜シト思ヒマス

○河田烈君 サウスルト是ハ抽象的ニ解釋シマス、臨港倉庫ナル意味ハ、單ニ地域ノミヲ以テ決定スルニモアラズ、又用途別ニ依ッテ決定スルニモアラズ、地域及ビ用途等ヲ勘案シテ運輸通信大臣ガ個々ニ具體的ニ決メルト云フコトニナルンデセウカ

○政府委員(谷口恒二君) 大體左様御承知

ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙此ノ點ニ付キマシテハ、運輸通信乃至現在ノ遞信省等ノ政府委員ニ於キマシテ御答ヘ致シマスノガ適當デアアル問題デゴザイマシテ、私打合せタ上大體申上ダマシタガ、尙若シ違ッテ居リマシタラ後刻訂正ヲ致シタイト思ヒマス、御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

○河田烈君 諄イヤウデスガ、通常議會デアルナラバ、其ノ臨港倉庫ト云フ言葉ノ定義ニ付テ法制局ナリ運輸通信省、マダ出來ナイケレドモ、鐵道省ナリ遞信省ナリノ方ノ御出席ヲ求メテ詳シク説明ヲ承リタイト思ヒマスガ、今日ノ場合、ソレハ餘リ時機ヲ得ナイト思ヒマスシ、又其ノ必要ハナイノデ要求致シマセスガ、私ノ懸念スル所ハ、成ル程今度運輸通信省トナツテ、運輸通信大臣ノ下ニ一元化サレマスケレドモ、是ハ臨港倉庫デカラ海運當局ノ管轄ダ、是ハ鐵道當局ノ管轄ダト云フコトデ、ナカノノ塚ガ明カナイ、指定サレタ倉庫業者ノ迷惑ハ幾何カ心配スルノデアリマス、其ノ爲ニ私ハ此ノ前ノ調査部會デモ質問ヲ致シタノデアリマスガ、其ノ點ハドウモ是ハ希望ミタイニナリマスガ、私ノ質問シタ所以ヲ御了解願ヒマシテ、一運輸通信大臣ニ一元化サレマスガ、今御話ノヤウニ個々ニ具體的ニ指示サレルコトデアラナラバ、折角運輸交通ニ資スルガ爲ニ設ケラレル所ノ交通省、簡單ニ言ヒマシテ交通省ト申上ダマスガ、交通省ノ出來タ所以ヲ十分徹底スルヤウニ運用セラレルコトヲ希望致シマス、是ハ質問デハアリマセス、私ノ質問シタ所以ヲ申上ダテ置ク次第デアリマス、次ニ少シ問題ガ懸離レテ、或ハ關聯シテ居リマスガ、少シ懸離レタ所カラ質問致シマスノデ、異様ニ

思召ニナリマシタナラバ、委員長御許ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、單リ運輸通信省ノミナラズ、農商省、軍需省トモ關係スルノデアリマスガ、餘リ學究的ニ一般論ヲシマスト却テ混亂シマスカラ、運輸通信省ダケニ限ッテ伺ヒマスレバハッキリスルト思ヒマスカラ、其ノ點カラ伺ッテ見タイト思ヒマス、マダ是ハ豫算ガ回付シテナイノデスガ、チヨット豫算カラ伺ッテ行カタイト後ノ質問ガ出來ナイノデ御許ヲ願ヒタイ、運輸通信省ニ今度大臣、次官等ノ豫算ヲ要求シテ居ラレル、サウスルト今度運輸通信省ノ官房ノ經費ト云フモノハ、運輸通信省トシテ新ナル豫算ヲ、大臣次官ノ俸給ト官房ニ關スル經費ノ一部ト云フノデ要求セラレテ居リマスガ、此ノ外ノ經費ハ鐵道省若シクハ遞信省ノ所管ノ成立豫算ヲ組替ト言ヒマスカ、項以上ノモノヲ組替ヘテ使用セラレル御計畫デアルト思フノデアリマス、サウシマス、鐵道省ノ方ニモ官房ノ經費ハ要求セラレテ居ル、是ハ間違ッテ居ッタ御許シヲ戴キマスガ、鐵道省ノ方ニ於テハ計上シテアルト思ヒマス、遞信省ハ一般會計、是モ言葉ヲ簡單ニスル爲ニ大臣次官ノ俸給ト申シマスガ、大臣次官ノ俸給ニ於キマシテハ、鐵道省ノ方ノ部分モ不用ニ立テラレ、遞信省ノ一般會計ノ方モ不用ニ立テラレテ運輸交通省ノ經費ヲ取ラレルト云フコトニナルノデスカ、マダ豫算ハ全般ニ出テ居リマセスカラ分リマセスガ、サウ云フ風ニ解釋シテモ宜イモノデセウカ

○政府委員(植木庚子郎君) 御答ヘ申上ダマス、只今御質問ニナリマシタ大體ノ趣旨ノヤウニナツテ居リマシテ、今ソレヲ明カニ致シマス爲ニ、チヨット御參考ニ、遞信省所

管ノ十八年度豫算ガ今回ドウ云フ風ニ所謂運輸通信省ノ豫算ニ組マレテ居ルカト云フコトヲ、ザットアラマシ申上ダマス、遞信省所算ノ經常部ヲ見マス、遞信本省ト云フモノガ第一款ニ載ッテ居リマスガ、遞信本省、即チ遞信省ハ今回其ノ一部分ガ軍需省ノ方ヘ電力關係デ參リマスノト、ソレカラ運輸通信省ノ方ヘ大部分參リマスノト、斯ウ云フ恰好ニナリマスノデ、從ッテ遞信本省ノ豫算ハ全部五箇月分ヲ不用ニスルコトニ致シマシテ、サウシテソレノ省ヘ新シク追加豫算デ以テ協賛ヲ御願ヒ致スト斯ウ云フコトニ致シテ居リマス、處ガ其ノ次ノ第二款ニ遞信局ト云フモノガゴザイマスガ、此ノ款ニ於キマシテ、是ハ此ノ儘全部ガ軍需省ヘ參リマス、ト申シマスノハ、此ノ一般會計ニ載ッテ居リマス遞信局關係ノ經費ハ、電力關係ノ經費ガ目安ニナリマシテ計上ニナツテ居リマス、所謂遞信關係ノ通信事業ト云フモノハ通信事業特別會計ニ載ッテ居リマスノデ、一般會計ニアリマス遞信局ト云フ經費ハ電力關係ノ經費バカリデゴザイマスノデ、全部ガ軍需省ヘ參ル、斯ウ云フ風ナコトニ相成リマス、第三款ノ電氣試驗所ハ其ノ儘運輸通信省ノ方ヘ移リマス、是ハ弱電關係ノ試驗ガ大部分ト看做シテ居リマスノデ、從ッテ是ハ運輸通信省ノ方ニ其ノ儘移シテ使フコトニ致シテ居リマス、同様ニ第四款海務院ト申シマスノガゴザイマスガ、是亦海務院ノ仕事ハ其ノ殆ど全部ガ運輸通信省ニ參リマスノデ、款ヲ其ノ儘持ッテ行ッテ運輸通信省デ使フ、斯ウ云フ風ニナリマス、第五款ノ海務局アタリニナリマス、其ノ一部分ガ内務省ニ參リマス、仕事ノ一部分ガ内務省ニ參リマスノト、運輸通信省ニモ參リマスノ

○政府委員(植木庚子郎君) 御答ヘ申上ダマス、只今御質問ニナリマシタ大體ノ趣旨ノヤウニナツテ居リマシテ、今ソレヲ明カニ致シマス爲ニ、チヨット御參考ニ、遞信省所

管ノ十八年度豫算ガ今回ドウ云フ風ニ所謂運輸通信省ノ豫算ニ組マレテ居ルカト云フコトヲ、ザットアラマシ申上ダマス、遞信省所算ノ經常部ヲ見マス、遞信本省ト云フモノガ第一款ニ載ッテ居リマスガ、遞信本省、即チ遞信省ハ今回其ノ一部分ガ軍需省ノ方ヘ電力關係デ參リマスノト、ソレカラ運輸通信省ノ方ヘ大部分參リマスノト、斯ウ云フ恰好ニナリマスノデ、從ッテ遞信本省ノ豫算ハ全部五箇月分ヲ不用ニスルコトニ致シマシテ、サウシテソレノ省ヘ新シク追加豫算デ以テ協賛ヲ御願ヒ致スト斯ウ云フコトニ致シテ居リマス、處ガ其ノ次ノ第二款ニ遞信局ト云フモノガゴザイマスガ、此ノ款ニ於キマシテ、是ハ此ノ儘全部ガ軍需省ヘ參リマス、ト申シマスノハ、此ノ一般會計ニ載ッテ居リマス遞信局關係ノ經費ハ、電力關係ノ經費ガ目安ニナリマシテ計上ニナツテ居リマス、所謂遞信關係ノ通信事業ト云フモノハ通信事業特別會計ニ載ッテ居リマスノデ、一般會計ニアリマス遞信局ト云フ經費ハ電力關係ノ經費バカリデゴザイマスノデ、全部ガ軍需省ヘ參ル、斯ウ云フ風ナコトニ相成リマス、第三款ノ電氣試驗所ハ其ノ儘運輸通信省ノ方ヘ移リマス、是ハ弱電關係ノ試驗ガ大部分ト看做シテ居リマスノデ、從ッテ是ハ運輸通信省ノ方ニ其ノ儘移シテ使フコトニ致シテ居リマス、同様ニ第四款海務院ト申シマスノガゴザイマスガ、是亦海務院ノ仕事ハ其ノ殆ど全部ガ運輸通信省ニ參リマスノデ、款ヲ其ノ儘持ッテ行ッテ運輸通信省デ使フ、斯ウ云フ風ニナリマス、第五款ノ海務局アタリニナリマス、其ノ一部分ガ内務省ニ參リマス、仕事ノ一部分ガ内務省ニ參リマスノト、運輸通信省ニモ參リマスノ

○政府委員(植木庚子郎君) 御答ヘ申上ダマス、只今御質問ニナリマシタ大體ノ趣旨ノヤウニナツテ居リマシテ、今ソレヲ明カニ致シマス爲ニ、チヨット御參考ニ、遞信省所

管ノ十八年度豫算ガ今回ドウ云フ風ニ所謂運輸通信省ノ豫算ニ組マレテ居ルカト云フコトヲ、ザットアラマシ申上ダマス、遞信省所算ノ經常部ヲ見マス、遞信本省ト云フモノガ第一款ニ載ッテ居リマスガ、遞信本省、即チ遞信省ハ今回其ノ一部分ガ軍需省ノ方ヘ電力關係デ參リマスノト、ソレカラ運輸通信省ノ方ヘ大部分參リマスノト、斯ウ云フ恰好ニナリマスノデ、從ッテ遞信本省ノ豫算ハ全部五箇月分ヲ不用ニスルコトニ致シマシテ、サウシテソレノ省ヘ新シク追加豫算デ以テ協賛ヲ御願ヒ致スト斯ウ云フコトニ致シテ居リマス、處ガ其ノ次ノ第二款ニ遞信局ト云フモノガゴザイマスガ、此ノ款ニ於キマシテ、是ハ此ノ儘全部ガ軍需省ヘ參リマス、ト申シマスノハ、此ノ一般會計ニ載ッテ居リマス遞信局關係ノ經費ハ、電力關係ノ經費ガ目安ニナリマシテ計上ニナツテ居リマス、所謂遞信關係ノ通信事業ト云フモノハ通信事業特別會計ニ載ッテ居リマスノデ、一般會計ニアリマス遞信局ト云フ經費ハ電力關係ノ經費バカリデゴザイマスノデ、全部ガ軍需省ヘ參ル、斯ウ云フ風ナコトニ相成リマス、第三款ノ電氣試驗所ハ其ノ儘運輸通信省ノ方ヘ移リマス、是ハ弱電關係ノ試驗ガ大部分ト看做シテ居リマスノデ、從ッテ是ハ運輸通信省ノ方ニ其ノ儘移シテ使フコトニ致シテ居リマス、同様ニ第四款海務院ト申シマスノガゴザイマスガ、是亦海務院ノ仕事ハ其ノ殆ど全部ガ運輸通信省ニ參リマスノデ、款ヲ其ノ儘持ッテ行ッテ運輸通信省デ使フ、斯ウ云フ風ニナリマス、第五款ノ海務局アタリニナリマス、其ノ一部分ガ内務省ニ參リマス、仕事ノ一部分ガ内務省ニ參リマスノト、運輸通信省ニモ參リマスノ

デ、從テ斯ウ云フモノニ付キマシテハ、先
程申シマシタ遞信本省ノ同様ノ扱ニ致シマ
シテ、五箇月分ノ費用ヲ一應不用ト斯ウ云
フコトニナルノデアリマス、從テ新シク出
來マス運輸通信省ニ於キマシテ、將來ノ五
箇月分ヲ今度ノ追加豫算デ御願ヒシヨウ、
斯ウ云フ大體趣旨ニナッテ居ルノデアリマ
ス、以下經常部ニ付キマシテハ、大體今申
シマシタヤウナ趣旨ト同ジヤウナ趣旨ニ致
シテ居リマシテ、臨時部ニ於キマシテモ亦
同様デアリマス、ソコデ新シク出來マス運
輸通信省ノ大臣次官ノ經費ト云フヤウナモ
ノハ、勿論今申シマシタヤウナ趣旨カラ致
シマシテ、新シイ今度御願ヒ致シテ居リマ
ス追加豫算ニ計上致シテアリマス、ソレカ
ラ官房ノ經費ト云フヤウナモノニ付キマシ
テハ、今回ノ措置ト致シマシテハ、大體ニ
於キマシテ、從來遞信本省ニ於キマシテノ
官房ニ居リマシタ陣容、其ノ陣容ガ概ネ新
シイ運輸通信省ノ陣容ヲ構成スルモノト看
做シテ、今度御願ヒ致シテ居リマス追加豫
算デハ、大體左様ニ區別シテ居リマス、併
シナガラ御説ノヤウニ鐵道ニ於キマシテ官
房事務ト云フモノガアルデハナイカ、其ノ
分ガ今回ハドウナルノカト云フコトニナリ
マスガ、今回ノ行政機構ノ整備ハ非常ニ廣
汎ナ範圍ニ互リマシテ、政府部内ノ各當局
ノ事務モ非常ニ量ガ多ク、且多忙ヲ極メテ
居リマスノデ、差當リノ處今申シマシタヤ
ウナ趣旨デノ官制案ガ出來ルコトニ相成ッ
テ居リマスノデ、豫算ノ措置モ同様ニ之ニ
準ジテ居ルノデアリマス、併シ將來鐵道省、
前ノ鐵道省ノ官房系統ノ事務ガ若シ新シイ
運輸通信省ノ官房デアルト云フコトニ相成
リマスレバ、其ノ時ニハ其ノ爲ニ必要ナ事

務費、人件費ト云フヤウナモノハ豫備金デ、
若シ年度途中デアリマスナラバ豫備金デ支
出シテ、從テ官制モ直ッテ行クト云フコト
ニナラウカト思ヒマス、其ノ場合ニ於キマ
シテハ會計法ノ戰時特例ニ先程アリマシタ
ヤウニ、其ノ鐵道省ノ方カラ移ッテ参リマス
人件費、事務費ト云フモノヲ、鐵道特別會
計カラ一般會計ニ繰入レテ載クヤウナコト
ニナルカ、或ハ又繰入ヲシナイデ、一般會
計デ全部持ツコトニ致シマスカ、其ノ邊ハ尙
十分今後研究致シテ参リタイト思ヒマス、
大體以上ノヤウナコトニ相成リマス

○河田烈君 サウシマス只今取敢ヘズ帝
國鐵道會計デ負擔シテ居ル官房等ノ經費ニ
付テハ、將來考慮スルト云フコトデアリマ
スガ、問題ヲ簡單ニスル爲ニ、兎ニ角鐵道
大臣ノ俸給ト云フモノハ不用ニナルト云フ
コトハ明瞭ダラウト思フ、サウスルト茲ニ
一般會計ノ運輸通信省トシテ、官房ニ關ス
ル經費ヲ要求セラレタ部分ヲ其ノ儘トハ言
ヘマセスケレドモ、遞信省ノ方ハモウ不要
ニナル、今迄ノ、此處ヘ一般會計追加豫算デ
要求サレルト同時ニ、鐵道省特別會計ニ於
テモソレニ相當スルノハ不要ニナル、斯ウ
解釋シテ宜イノデスカ

○政府委員(植木庚子郎君) 仰セノ通りデ
アリマス

○河田烈君 ソコデ大變面倒臭イコトヲ質
問スルノデスガ、今度運輸通信省ヲ作ラレ
テ、多年ノ問題ヲ交通省ノ萌芽ガ不完全
ナガラ出來テ來タ時ニ當ッテ、今此處ニ帝國
鐵道會計法ノ改正案ヲ出シテ居ラレルノデ
アリマスガ、今遞信省ノ經費ニ付テ誠ニ理路
整然ト區分ヲシテ御話ガアツタ、遞信大臣ノ
監督ヲシテ居ルノハ今迄電氣ノ仕事モアレ

バ、海務ノ仕事モアル、ソレ等ノ内デ電氣ノ
如キハ他ノ省ニ移管スル、遞信大臣ノ管轄範
圍ガ變ッテ來タノダカラ、是ハ不用トナル、鐵
道ノモ同様ニ不用ニナル、サウシテ改メテ運
輸通信大臣ノ俸給ヲ要求スル、誠ニ細カク區
分ヲシテ居ラレルコトハ結構ト思ヒマスガ、其
處迄行クナラバ此ノ際思ヒ切ッテ帝國鐵道
會計法ノ改正ヲスル、寧ロ今政府委員ガ將
來サウ云フコトガ起ルカモ知ラス、考究ス
ルト言ハレマシタケレドモ、思ヒ切ッテ帝國
鐵道會計ノ負擔シテ居ル所ノ監督行政ニ關
スルモノハ全部追加豫算ヲ要求サレ、サウ
シテ鐵道會計ハ現業費ダケニスルト云フコ
トニ一遍ニ改正シテシマッタ方ガ理論ガ正
シイノデアリナイカ、一般會計ノ遞信省ノ關
係ノ經費ニ付テハ誠ニ理路正シク要求セラ
レテ居リナガラ、帝國鐵道ノ負擔シテ居ル
モノハ帝國鐵道會計法ヲ改正シテモ、依然
トシテ舊來ノモノヲ込メ、又其ノ他ノ監督
行政ノ經費迄モ其ノ内ニ含メサセルト云フ
ノハ、前者ノ非常ニ理路整然タルモノニ對
シテ、何等カ逆行シテ居ルヤウナ氣ガスル
ノデスガ、何故其處迄行カレナカタノデ
アリマセウカ

○政府委員(植木庚子郎君) 今回新シク加
リマス所ノ「陸運」ノ用ニ供スル機械器具ノ
製造、修理其ノ他ノ事業及倉庫營業ニ關ス
ル監督」云々ト云フコトニナッテ居リマス
ガ、其ノ部分ニ對シテノ監督統制ノ費用ト
云フモノハ、機械器具ノ製造事業、修理其
ノ他ノ事業ニ關スルモノハ、是ハ仰セノ通
リ成ル程今迄鐵道特別會計ノ所屬デハナ
カッタノデアリマス、併シ現在ノ鐵道會計法
ガ相當廣ク、所謂純粹ノ帝國鐵道トシテ經
營シテ居リマスル所ノ鐵道ノ現業バカリデ

ナシニ、陸運ノ監督統制助成等ニ關スル經
費ヲ、便宜此ノ會計デ負擔スルコトニ相成ッ
テ居ルノデアリマス、從ッテ其ノ部分ノ爲
ニ鐵道ト致シマシテハ、從來所謂帝國鐵道
經營ノ爲ノ收入支出ノ外ニ、廣ク陸運ノ監
督統制ニ關スル費用ガ、鐵道大臣所管ノ事
務ニ致サレテ居リマス分ニ付テハ相當アッ
タノデアリマス、サウシテ今回此ノ法律ノ
改正ニ依ッテ殖エマスル所ノ自動車ノ車輛、
ソレカラ鐵道ノ車輛、車輛等ノ製造修理其
ノ他ノ事業ノ爲ニ新タニ更ニ其ノ行政ガ加
ハルコトニナリマシタガ、其ノ部分ハ從來
ヤッテ居リマス分ニ較ベマシテ量的ニハ比
較的多クナイノデアリナイカ、現在相當部分
ハ陸運關係ニ於キマシテ監督統制ヲヤッテ
居リマスカラ、此ノ際若干ノ増加ノ部分ハ
便宜帝國鐵道會計ニ入レテ置イタ方ガ從
來ノ分ト合セマシテ便宜ナンデヤナカラウ
カ、殊ニ此ノ際ハ其ノ仕事ガ從來ヤッテ居
リマス分ト、從來ノ現業ノ爲ノ仕事ノ區分
ト云フモノガ、現在ノ狀態ニ於キマシテハ
渾然一體ニナッテ居ルヤウナ恰好ニナッテ居
リマシテ、此ノ際ソレヲ區分スルコトモ相
當困難デアリマスシ、寧ロ此ノ際若干ダ
ケ加ハルノニ過ギナイノデアリマス、從
來相當部分ヲヤッテ居ルノニ、此ノ際少シ殖
エ程度ノモノデアリマスカラ、マア便宜
論デアリマスガ、帝國鐵道會計ノ所屬ト
シ、其ノ歳出トシテヤッテ行カウト云々ヤ
ウナ有様デアリマシテ、確カニ御指摘ノヤ
ウニ今度ノ追加豫算ノ編成方法ノ大體ノ方
針カラ考ヘマス、此ノ部分ニハ若干矛盾
スル點ガアルト云フ御非難ヲ蒙ッテモ已ム
ヲ得ヌ點ガアルカトモ考ヘマス

○河田烈君 此ノ會計バカリデ餘リ質問ス

ルノハ遠慮シタイト思フノデアリマスガ、是ハ政府御當局モ御承知ノ通り、今ノ帝國鐵道會計ノ内容、其ノ負擔關係ト云フモノガ、出來タ當時カラシテ會計論カラ言ヘバ變テコニ出來テシマデ居ル、ソレガ今日迄ズツ押シテ來テ居ルノデ、何時カハ改正シナケレバナラヌ時期ガアラウト思ヒマス、併シ今日此ノ急場ノ爲ニ之ヲ改正スルト云フコトハ、是モ餘程困難デアラウト思フノデアリマスカラ、強ヒテソレハ主張スル譯デハナイガ、今政府委員ガ仰シヤルヤウニ、是ガ便宜ダト言ヘバ便宜ダ、便宜ニ違ヒナイガ、特ニ此ノ際色々手數ノ掛ルコトハ避ケタイト云フコトハ、ソレハ了承致シマスケレドモ、折角此處迄ヤツテ參タノデアリマスカラ、一舉ニ鐵道會計法ノ改正ヲスルコト迄ノ必要ガアルノデハナイカ、私ノ申上ダタヤウニ監督行政ノ方ハ一般會計ニ持ッテ行ク、監督行政ノ方ハ鐵道會計カラ取ッテシマフ、是ガ性質カラ言ヘバ帝國鐵道會計ノ性質ガ、行政費ト監督行政費ガナカノコングラガッテ居ルト云フコトハ成程アルデセウ、ソコニ今日帝國鐵道會計ノ行キ方ノ缺點ト謂フカ、弱點ト謂フカ、或ハ見方ニ依ッテハ或ハ強味デアルト見エルヤウナコトガアリマスガ、斯ウ云フ時代ニ於テ唯其處迄行カレタラト思ッテ申シタノデアリマスガ、併シ昨今所謂決戰狀態、總テノ行政ト云フモノガ非常ニ多端デアリ、忙シイ時ニ其處迄スルコトモ強ヒテ出來ナイト言ハレレバソレダケダト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ考ヘマシタノデ、會計法ノ改正ヲスルノナラバ、寧ロソチラノ方ヲ改正スルノ必要ガアルト思フノデアリマスガ、ソレハ便宜上ヤツタノデ已ムヲ得ナカッタト云フコトデ、

是以上質問ハ致シマセヌガ、又他日質問致スコトガアルカモ知レマセヌ、是デ打切りマス

○政府委員(窪谷直光君) チョット先程補助費ノ總額ガ幾ラカト云フ御質問デゴザイマシタガ、數字ガ分リマシタカラ申上ゲマス、一般會計ニ於キマシテ八十一議會デ御協賛ヲ經マシタモノガ二十一億四千七百萬圓、ソレカラ先般ノ八十二議會ニ於キマシテ御協賛ヲ得マシタモノガ五億八千三百萬圓、合セマシテ二十七億三千萬圓トナツテ居リマス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 帝國鐵道會計法ニ付テ其ノ他御質疑モゴザイマセヌカ……ソレデハ次ヘ移リマス、所得稅法及地租法中改正法律案、之ニ付テ御質疑ヲ願ヒマス

○黒田英雄君 此ノ地租ノ中デ七十一條ノ問題デスガ、小サイ田畑ニ付テ免租ニナツテ居リマスガ、此ノ申請ヲシテ居、サウシテ毎年變更スルト云フヤウナモノガ從來相當アルモノデスカ、サウ云フモノハナイノデスカ、一遍モウ修正シタラ、大抵後ハ皆變リガナイモノデスカドウデスカ、實際上ニ於テ……

○政府委員(松隈秀雄君) 小農耕地ノ免租ヲ受ケテ居リマスル人員ハ、五百四十餘萬人ニ及ンデ居リマスガ、新シク土地ヲ買取ツタ爲ニ、賃賃價格ガ二百圓ヲ超エテ免租ノ特典ヲ失ヒマスルモノ、或ハ從來ハ賃賃價格ノ合計額ガ二百圓以上デアッタ爲ニ、小農耕地トシテ免租ニナラナカッタモノガ、土地ヲ賣ッテ賃賃價格合計二百圓未滿ニナリマスルト云フト、改メテ小農耕地トシテノ免租ヲ受ケ得ルニ至ルノデアリマ

シテ、ソコニ農耕地ノ賣買ガ行ハレマスル結果、或程度ノ異動ガアルノデアリマスルガ、今此處ニ正確ナ數字ハ持ッテ居リマセヌガ、其ノ異動ハ左程大キナ數ニハ及ンデ居ラナイト思ッテ居ル次第デアリマス

○黒田英雄君 唯土地ヲ買取テ殖エタヤウナ場合ニ免租ノ資格ガナクナルト云フ風ナ場合ニハ、其ノ申請ヲ、サウ云フ資格ガナクナツタト云フヤウナコトヲ届出ルト云フヤウナコトハ、ドウシテモ怠ルヤウニナルノデヤナイカト思フノデスカ、ソレナラ稅務署ノ方デ何カ分ルヤウナ方法ガアルノデスカ、或ハ後ニ分レバ通牒スルト云フヤウナコトヲヤラレルノデスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 小農耕地ノ免租ノ手續ニ付キマシテハ、市町村ヲ經由シテ免租ノ申請ヲ出サシテ居リマスル關係上、現在ニ於キマシテモ、一旦免租ノ申請ヲ致シマシテモ、途中デ土地ヲ買増シ致シマシタ爲ニ、賃賃價格ノ合計額ガ二百圓以上ニナリマシテ、免租ヲ受ケ得ル資格ヲ喪失シタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、土地ノ賣買ガアッテ登記ガアリマスルト云フト、市町村デ名寄ヲ整理シテ居リマスノデ、市町村役場ノ方ガ申請書ヲ取次イダ責任上、名寄ノ整理ヲシタ結果、資格ガナイト認メル場合ニハ、稅務署ニ連絡ヲ致シマシテ、其ノ連絡ガアリマスレバ、稅務署ハ其ノ後ニ於キマスル納期カラハ免租ニ致サナイト云フ扱ニシテ居リマスノデ、今後ニ於キマシテモ、異動ノナイ土地ニ付テハ、申請ノ手續ヲ省略サセルコトニ致シマシテモ、名寄帳ノ整理ト稅務署トノ連絡ガ宜シケレバ、ソレニ依ッテ無資格者ガ依然免租ノ恩典ヲ受ケテ居ルト云フヤウナ點ハ防ギ得ルト

思ッテ居ル次第デアリマス

○三井清一郎君 事前ノ説明デ承ツタノデスガ、間違ッテ居ルカモ知レマセヌカラ、モウ一點伺ヒタイト思ヒマス、田租ノ納期ハ一年一回ニスルト、二百五十六萬人ノ取扱ガ一回ダケ簡單ニナルヤウニ承タノデアリマスガ、サウデアリマスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 左様デゴザイマスガ、田租ニ付キマシテハ納稅人員ガ二百五十六萬人ゴザイマシテ年二期ノ納期ニナツテ居リマスルノデ、一回二百五十六萬人ニ納稅告知書ヲ出シテ居ルノデアリマス、ソレガ一回デ済ムト云フ譯デアリマス

○三井清一郎君 モウ一ツ、チョット數字ガ誤ッテ居ルカモ知レマセヌノデ、小農耕地免租ニ關スル申請ガ五百四十萬通ト承ッテ居リマスガ、是ハ間違ッテ居リマセヌカ

○政府委員(松隈秀雄君) 五百四十三萬人程ニナツテ居リマスノデ、其ノ通りデゴザイマス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 外ニゴザイマセヌカ、ソレデハ次ヘ移リマシテ、國有財産法中改正法律案、之ニ付テ……

○入江貫一君 私先程次官ノ御説明ヲ誤解シテ居ッタノカモ存ジマセヌガ、此ノ計算書、報告書ヲ調製スルコトニ非常ニ手數ガ掛ル、ソレガ爲ニ之ヲ添付スルコトヲ省略スルト云フ風ニ伺ッタノデアリマスガ、サウ致シマスルト、調製其ノモノヲオヤメニナルノデアリマスカ、ソレトモ調製スルガ、之ヲ印刷其ノ他ニ附シテ議會ニ添付シテ出スト云フコトヲオヤメニナルト云フノデアリマスカ、ドチラデゴザイマシタラウカ

○政府委員(谷口恒二君) 私ノチョット言葉ガ足りマセヌデシタイト思ヒマスガ、調整

ハ矢張り致サナケレバナリマセヌデゴザイ
マシテ、調整致シマシタモノヲ印刷ニ致シ
マスモノガ相當ニ嵩高ノモノデゴザイマス
カラ、其ノ方ノ人手ナリ又資材ナリヲ節約
ヲ致シタイト云フ考デアリマス

○入江貫一君 多分サウデアラウト存ジマ
スノデ伺ッタデアリマスガ、勿論調製ハナ
サルコトト存ジマス、之ヲ調製シナケレバ
國有財産ノ現在高若シクハ増減ト云フモノ
ガ分ラナイデアリマセウト思ヒマス、然
ルニ帝國議會ト致シマシテハ決算ヲ審査致
シマスノニ、是ガナケレバ具體的ニ決算ヲ
審査スルコトガ出來ナイ勘定デアラウト思
フデアリマス、一々大キナ印刷物ヲ添付
ナサルコトハ、是ハ今日トシテ出來ナイデ
アリマセウガ、議會ノ調査ノ爲ニ或ハ原本ヲ
御提出ニナルトカ、或ハ原本ノ寫シヲ一部
ナリニ部ナリ議會ニ御提出ニナルト云フコ
トハナサリ得ルデアリマセウカ、如何デ
アリマセウカ、議會ノ審査權ト申シマスガ
ニモ、ヤカマシク言フト關係スルコトデア
リマスカラ、チヨット伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 勿論左様ナコト
ハ致シタイト思ヒテ居リマス、必要ガゴザイ
マスレバ調整致シテ居リマス、資料ノ全部
ヲ御覽ニ入レマスルコトモ致シマスルシ、
又必要ナ部分ヲ拔出シマシテ、御目ニ掛ケ
ルコトモ致ス考デ居ルデアリマス、尙
又アノ各省ノ關係ノ報告書、計算書ガ必ズ
シモ御審議ニ必要ナ資料ヲ全部備ヘテナイ
ヤウナ點モアルヤニ聞イテ居リマス、勿論
ソレデ足りナイ所モ附加ヘテ差出スコトモ
致シマシテ、國有財産ノ増減ナリ又現在高
ノ御審議ニハ十分ナ資料ヲ提出致シタイト
左様ニ考ヘテ居リマス

○入江貫一君 ソレデ私モ大變満足致ス次
第デアリマス、コ、デ或ハ寫シヲ議會ニ提
出スルコトカ云フヤウナコトニ了解シテ宜シ
イノデゴザイマセウカ

○政府委員(谷口恒二君) 寫シヲ差出シテ
御覽ニ入レルデアリマスガ、勿論全部ト
云フコトニナリマスルコト云フト、手數ガ掛
リマスルデアリマシテ、御審査ノ際ニ必
要ナ部分ヲ拔出シテ出スト、斯ウ云フコト
ニ相成ルカト思ヒマス、勿論左様ニ致シタ
イト思ヒテ居リマス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 外ニゴザイ
マセヌカ、ソレデハ第五番目ノ國債關係事
務簡捷化ニ關スル法律案ニ付テ御質問ヲ願
ヒマス

○入江貫一君 チヨット伺ヒタイトノハ、最後
ノ賜金公債デアリマスガ、是ハ今迄記名ニ
ナッテ居ッタノヲ、之ニ依ッテ無記名トスル
コトニ拜承シタノデアリマスガ、是ハ
確力讓渡、若シクハ質入ヲスルコトガ出來
ナイコトニ今迄ナッテ居タノデアリマスガ、其
ノ點ハ矢張り同様デゴザイマセウカ、如何
デゴザイマセウカ

○政府委員(田中豐君) 只今ノ點御話ノ通
リ政府ガ買入レル場合ノ外ハ、質入、讓渡
ヲ禁止シテ居リマス、其ノ點ハ無記名證券
ヲ發行致スヤウニ致シマシテモ同様ニ存續
スルコトニナッテ居リマス

○入江貫一君 政府ノ買入レマスノニハ、
郵便局ニ付テ一定ノ條件ニ依ッテ買入レル
コトニナッテ居ッタヤウニ記憶シテ居リマス
ガ、其ノ條件モ矢張り同ジコトダラウト推
測致シマス、ソレニ付キマシテ、是ガ記名
デゴザイマスレバ、其ノ條件ニ合フカ否カ
ト云フコトモ調査シ易クモアリマスシスル

ノデ、讓渡、質入ヲ禁止シタ趣旨モ徹底シ
易イト考ヘルデアリマス、ソレガ無記名
ニナリマスルコト、餘程法律ニ背イテ賣渡
スルコトガ事實ニ於テ有リ得ルコトニナル
ノデハナイカ、又有り易イコトニナルノデ
ハナイカ、ト云フコトヲ虞レルデアリマ
スガ、其ノ點ハ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(田中豐君) 御話ノ如ク政府ガ
買入レルノニハ一定ノ條件ガアリマス、貧
困トカ、病氣トカ色々事由ノ下ニ買入レ
ルコトニナッテ居リマス、從來政府ガ買入レ
マス場合ニ於キマシテモ、サウ云フ事情ノ
下ニ買入レルコト云フコトニ於キマシテモ、
御話ノ如ク記名デアレバ餘程其ノ判定ガヤ
サシイト云フコトハアリマスガ、概ネ部隊
長ノ證明、大隊ノ者ナラバ部隊長ノ證明、
或ハ市町村長ノサウ云フ條件ニ該當シテ居
ルト云フ證明ヲ附ケマシテ、サウシテ證明
ヲ出サシマシテ、政府ガ買入ラヤッテ居
タ譯デアリマス、又元金ノ支拂ヲ致シマス場
合ニモ其ノ記名ガ本人デアルト云フコトノ
證明ヲ取リマシテ、元金ノ支拂ヲ致シテ居
タ譯デアリマシテ、サウ云フ手續ハ將來モ
續ケテ行キタイト考ヘテ居リマス、ソレカ
ラモウ一ツ無記名デアルガ爲ニ第三者ノ政
府以外ノ者ニ賣ルト云フ問題ニ付キマシテ
ハ、御話ノ如ク、多少記名ガ取レマス爲ニ其
ノ點ガ相當懸念モナイデハナイガ、此ノ
國債證券ハ他ノ一般ノ國債證券ト違ヒマシ
テ、賜金國庫債券デアル旨ガ表示致シテア
リマス、又只今御話ニナリマシタ一般ニ質
入、讓渡ヲ禁止スルコト云フコトガ證券面ニ
明示致シタル譯デアリマス、其ノ點ニ於
キマシテハ、記名ガ無クナタト云フコトカ
ラ、多少感ジハ違フデアリマスケレドモ、

第三者ニ於テハ、是ガ讓渡、質入ガ禁止サレ
テ居ルト云フコトガハッキリ致シテ居ル
デアリマス、又此ノ賜金債券ヲ出シマシテ
モ、質入、讓渡ヲ禁止スル賜金證券デア
ルト云フコトハ、相當一般ニサウ云フ點モ周
知セラレテ居リマスノデ、サウ云フ懸念ハ
サウナイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○入江貫一君 御話ノヤウデアリマスレバ
誠ニ結構ダト存ジマスガ、無記名デアリマス
レバ、甲カラ乙ニ内々デ讓渡シテモ、ソレハ
分ラナイ、一定ノ條件ガアッテ、ソレヲ市町
村長ナリ、上官ナリノ證明ヲ得テ、サウシ
テ郵便局ニ持ッテ行ッテ、買上ゲテ貰フト云
フコトハ非常ニ手數ガ掛ル、ソレヨリモ先
ヅ少シ惡イケレドモ、安ク或人ニ讓ッテシマ
フト云フコトガ起リ易クナルノデヤナイカ
ト思フデアリマス、明記シテ讓渡若シク
ハ質入ヲ禁ズルト云フコトニハナッテ居
リマスガ、曾テ恩給ガ非常ニ澤山ナモノガ高
利貸ノ手ニ入ッテ居タ經驗ガアルデアリ
マス、恩給ノ證券ニハ今御話ノ通り質入若
シクハ讓渡ヲ禁ジテアリマス、禁ジテアル
ガ故ニサウ云フ虞レハ少ナカラウト考ヘル
ノハ、ソレハ事實ニ於テドウカト思フノデ
アリマス、況ヤ此ノ公債ノ方ハ無記名デア
リマス、恩給證券ノ如ク記名デハナイノデ
アリマス、無記名デアリマス、ソレデ之ヲ
賣ラウトスル時、非常ナ面倒ナ手續ガ要ル、
ソレヨリモ先ヅ高利貸ナリ何ナリニ賣リタ
イ、サウ云フ證明ヲ取ラナクテモ賣レルカ
ラ賣リタイト云フコトガ一方ニアリ、一方又
サウ云フコトデアリマスルカラ、安ク之ヲ
買取ラウト云フ者モ起ルノデハナイカト云
フコトヲ虞レルデアリマス、御話ノ通り
債券ノ裏ニ讓渡、質入ガ禁ジテアルカラ、

ソナナコトハアルマイト云フコトヲ考ヘテ
宜イモノデアリマセウカ、如何デセウカ、
私ハソコヲ心配スルノデアリマス

○政府委員(田中豐君) 先程多少説明ガ足
リマセヌデゴザイマシタガ、元金ヲ受取ル
際ニハ、其ノ本人デアアルト云フコトヲ辭令
書ナドト共ニ市町村長等ノ證明ヲ附ケテ、
本人若シハ相續人デアアルト云フコトヲ確
認シタ者デナケレバ拂ハナイト云フ風ニ、
今後國債規則ヲ改正致シタイト考ヘテ居ル
ノデアリマスガ、サウ云フコトガ附キマス
レバ、御話ノ如ク感じノ上デハ記名ト無記
名ト云フコトガ相當ニ違ッテ參ルト思ヒマ
スケレドモ、實際ニ於キマシテソレヲ讓受
ケテモ、サウ云フ手續ヲ受ケナイモノ、例
ヘバ資金國庫債券ノ辭令書ト、サウシテ辭
令書ニハ記名ガシテアルノデアリマス、ソ
レト附ケテ持ッテ參ラナケレバ元金ヲ拂ハ
ナイト云フヤウナ方法モ考ヘラレルノデア
リマス、サウ云フコトニ依リマスレバ從來
ノト結果ニ於キマシテ殆ド大差ナイカト考
ヘテ居リマス

○入江貫一君 今ノ所デ伺ヒマスガ、辭令
書ヲ持ッテ來ナケレバ元金ヲ返シテヤラナ
イ、是ハ元金ヲ返スノハ何年カ先ノコトデ
アリマス、ソレ迄辭令書ヲ保管シテ置カ
ナケレバナラナイ譯デアリマスガ、ソコハ如
何デゴザイマセウカ、公債證書以外ニ其ノ
辭令書ヲ持ッテ來ナケレバ拂ッテヤラヌト云
フヤウナ御心持デアアルノデアリマセウカ、
ソコヲチヨット伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(田中豐君) 此ノ點ハ今後省令
以下決定ナル問題デアリマシテ、尙研究ヲ
要スル問題デアリマスガ、サウ云フコトモ
可能デアリマシテ、辭令書ガナケレバ必ズ

拂ハヌト云フコトデハアリマセヌガ、本人
若シハ相續人デナケレバ拂ハナイト云フ
コトハ現在モアル譯デアリマスノデ、ソレ
ヲ確認スル方法トシテ、辭令書ヲ附ケサセル
ト云フコトモ一ツノ便法カト思ヒマスガ、
尙其ノ點ニ付テ考究ヲシナケレバナラナイ
ト思ヒマス

○入江貫一君 私ハ其ノ點ニ付テ別ニ強ヒ
テ申サナイノデアリマスガ、若シサウ云フ
コトヲナサルナラバ、大變ナ困ルモノガ出
來テ來ヤシナイカト思ッタカラチヨット伺ッ
タデアリマスガ、私ノ伺ヒタイノハ本人デ
ナケレバ拂ハナイト云フコトデ、今迄ノ恩
給等デモサウ云フ經驗ガ澤山アルノデアリ
マスガ、代理權ヲ設定シテ、本人ノ代理人
デアリマスト云フコトニシテ、受取ニ行ケ
バ受取レルノデヤナイカト思フノデゴザイ
マスガ、ソコ等ノコトハ私餘程憂慮スルノ
デアリマスガ、ドウ云フ風ニ御考ヘデアリ
マセウカ

○政府委員(田中豐君) 勿論代理人デアッ
テモ拂ヘル譯デアリマスガ、ソレハ飽ク迄
モ本人竝ニ其ノ相續人ニ支拂フト云フ建前
ノ下ニ、其ノ代理人デアアルト云フコトガ確
認サレタ場合ニ拂フノデアリマスガ、資金
國庫債券ノ元金ニ付キマシテハ、現行法ニ
於キマシテモ豫メ届出デマシタ日本銀行本
店、支店、代理店、又ハ郵便局、是ハ場所
ガ決ッテ居リマシテ、其處デナケレバ元金
ノ支拂ハ致サナイコトニナッテ居リマス、
サウ云フ點カラモ比較の本人、相續人デア
ルト云フコトノ確認ガ、一般ノ何處デモ支
拂ハレルト云フモノヨリモヤサシイト考ヘ
テ居リマス

○入江貫一君 マダ實ハハッキリ私ニ了解
出來ナイノデアリマスガ、譲リ受ケタ者ガ
代理權ヲ取ッテ、取ッテ云フノハ手續上ノ
代理權デアリマシテ、法律上ノ代理權、詰
リ紙ノ上ノ代理權ヲ取ッテ受取ニ行ケバ、
直チニ受取レルノデハナイカト思フノデア
リマス、恩給ノ何「パーセント」デスカ、餘程
大キナ「パーセント」ニナリマスガ、高利貸ノ
手ニ入ッテ高利貸ガ皆代理人トシテ受取ッ
タデアリマス、サウ云フ事實ガ起リハシ
ナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマスガ、
御話ノヤウダト、サウ云フコトハ餘リ起
ヌト云フ御考デアリマセウカ

○政府委員(田中豐君) 御話ノヤウナ點ハ
現在ノ記名國債ニ付テモ、代理權ガ記名證券
ヲ譲リ受ケタト云フモノニ付テモ、同ジヤ
ウニ考ヘラレルノデハナイカト思フノデア
リマス、是ハ本人竝ニ相續人ノミニ支拂フノ
デアリマスカラ、唯元金ノ受領ノ點ヲ代理ス
ルト云フ使ミタイナ意味ノモノハ勿論支拂
フベキモノダト思ヒマスガ、實質のニ讓渡
ヲ受ケタヤウナ意味ニ於ケル代理ト云フモ
ノハ支拂フベキ問題デハナイノデアリマシ
テ、此ノ點ニ付キマシテハ、サウ云ッタヤ
ウナ代理受領ト云フヤウナ觀點ハ、記名デ
アリマシテモ、或ハ無記名デアリマシテモ、
其ノ點ニ差異ハナイカト思ッテ居リマス

○入江貫一君 此ノ上ハ考ガ違フト云フコ
トニナルカモ知レマセヌガ、無記名デアリ
マスレバ、讓渡シ易イ、讓受モシ易イト云フ
コトガ記名ヨリハ非常ニ其ノ點ガ違フノデ
アラウト思フノデアリマス、ソレカラ記名
デアッテモ代理權ヲ設定スレバ受取レル、
是ハ當リ前ノコトデアリマスガ、無記名デ
アルカラ之ヲ讓渡、讓受デモ其ノモノガ記
名ヨリハサウ云フコトヲシ易クナルノデハ

ナイカ、サウシテ其ノ分量ガ非常ニ多クナ
ルノデハナイカト云フコトヲ恐レルノデア
リマス、是ハ併シ増加ハソナナニ多クナ
イト云フ御考デアリマスストスレバ、私ト考
ガ違ッテ來ルト云フコトニナリマスカラ、質
問デナクナリマスノデ、希望ヲ申述ベルノ
モ如何ト存ジマスガ、ソレ等ノ點、元金ヲ支
拂フ點、先程御話ノヤウニ證書ヲ持ッテ行
カナケレバ拂ッテヤラヌノダト云フヤウナ
御考迄ハマダ決ッテ譯デナイノデアリマセ
ウガ、ドウカ能ク御考ノ上デ御決定ヲ願
ヒタイト、希望ヲ申述ベルノモ如何カト存
ジマスガ、附加ヘテ申シテ質問ヲ終リマス

○政府委員(田中豐君) 初メ法案ノ説明ニ
モ申上ゲマシタヤウニ、本件ハ非常ニ手數
ガ要シマスノデ、手數ヲ省略スルト云フ趣
旨ガ非常ニ強イノデアリマシテ、之ヲ無記
名：：現在ノヤウニ登録シマシテ記名證券
ヲ發行シテ居ルノニ較ベマスレバ、無記名
證券ヲ出スト云フコトハ、御話ノヤウナ點
ハ確カニサウ云フ點ハ殘ル、其ノ高ノ多少
ニ付キマシテハ別問題トシマシテ、サウ云
フ懸念ガ強クナルト云フコトハ確カニアル
ト思フノデアリマス、其ノ點ヲ私ハ縷々辯
解メイタコトヲ申シマシタケレドモ、ドウ
シテモサウ云フコトニナルコトニ爭ハレ
ナイノデアリマシテ、サウ云フ點ヲ成ルベク
防止シ、而モ受領者ノ不便ヲ現在ヨリモサウ
増サヌト云フヤウナコトモ考ヘナケレバ
ナリマセヌノデ、出來ルダケ轉々スルコトヲ
防止シナガラ受領者ノ不便ガ現在ヨリモ非
常ニ増シテ行クト云フヤウナコトデナク、
出來ル限リ轉々流通スルト云フヤウナコト
ヲ取締ル方策ヲ考ヘタイト考ヘテ居ル次第
デアリマス

○入江貫一君 誠ニ有難ウゴザイマシタ、ソレデドウカ之ヲ實行ナサイマスニ付キマシテ、何カ外ニモ、公債ニ付テモ適當ナ方法ガアルト云フヤウナコトガゴザイマスレバ、ドウカ此ノ點迄モ御考ヲ願ヒタイト存ジマス

○政府委員(谷口恒二君) 只今ノ點ハ能ク承テ置キマシテ、間違ヒノナイヤウニヤツテ行キタイト思ヒマス

○黒田英雄君 消滅時効ノ完成シタモノニ付テハ當分支拂フト云フノデアリマスガ、是ハ今迄ズツ消滅時効ガ完成シテ居ルモノデモ今後持ッテ來レバ、ソレハ拂ッテヤラウ、此ノ法律ガ施行サレタ後ニ完成シタモノニ限ルト云フ意味デハナイノデゴザイマセウネ

○政府委員(田中豐君) 左様デゴザイマス、本法ノ施行前ニ既ニ消滅時効ガ完成致シテ居リマシテモ、本法施行後ニ請求ガアリマス分ハ、消滅時効ガ完成致シテ居リマシテモ支拂フコトガ出來ル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○黒田英雄君 サウナリマス云フト、本法施行後ニ請求シタナラバ、モウ數年前ニ完成シタモノデモ拂ッテヤル、昨日請求シタモノハ、是ハ時効ヲ完成シテ居ルカラ拂ッテヤラナイト、昨日ハ例ネ付ケテ置イテ、怠ッテ持ッテ行カナイデ、施行後持ッテ行クト、其ノモノハ拂ッテ貰ヘルト云フト非常ニ不公平ヲ生ジヤシマセヌカ

○政府委員(田中豐君) 御話ノヤウニ相成リマス、サウ云フ點ハ確カニ不公平ニナルノデアリマスガ、是モ亦事務簡捷ト云フ點カラ考ヘマシテ、非常ニ多クノ國債ノ利札ノ支拂ガ元利支拂店ニ殺倒スル、其ノ際ニ利

札ナリ、主トシテ利札ノ問題デアリマスガ、一々時効ニ掛ッテ居ルカドウカト云フコトヲ見分ケマシテヤルト云フコトハ非常ニ手數ガ掛ル、之ヲ簡略ニスルト云フノガ今回ノ主タル趣意デアリマシテ、從ヒマシテ本法施行後ニ於キマシテモ其ノ時効ガ本法施行後ニ完成シタノデアルカドウカト云フコトヲ更ニ見分ケマズコトハ一層手數ガ掛リマシテ、折角本法ヲ斯ウ云フ改正ヲ致シマス趣意モ立タナイ譯デアリマス、御話ノヤウナ不公平ハアリマスガ、其ノ分ニ付キマシテハ從來ハ消滅時効ガ完成シタ上ハ支拂ハナイト云フコトデ停止サレマシタ利札等ハ總テ政府ガ取ッテ居リマス、今後停止ヲ受ケタモノニ付テ支拂フ、斯ウ云フコトニ此ノ際取扱ガスツカリ變ル譯デアリマシテ、ソコデ今迄ノモノト今後ノモノトノ不公平ト云フコトハドウシテモ殘ル譯デアリマスガ、已ムヲ得ナイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○黒田英雄君 今ハ持ッテ行ッテ消滅時効ガ完成シテ居ッタナラバ政府ノ方デ取ッテ本人ニハ返サナイ、持ッテ歸ッテ居ル者ハナイデセウ

○政府委員(田中豐君) 支拂ハシナイデ皆コチラガ取ッテ居ル譯デアリマス

○黒田英雄君 消滅時効ニ掛ッテ支拂ハナイト云フヤウナモノハ凡ソ毎年ドレ位ノ金額ニ上ルモノデスカ

○政府委員(田中豐君) 元本ノ方ハ年々非常ニ違ッテ居リマシテ、大シタ額デハアリマセヌガ、昨年度ニ於キマシテ七萬九千圓程度ノ利子ガ出テ居リマス、是ハ昭和十二年ノ支那事變以來賜金公債ヲ出シテ居リマスガ、年々殖エテ參リマシテ、昨年ハ詰リ七

萬九千圓、今後多少益之ガ殖エテ行ク傾向ニアルト考ヘテ居リマス

○河田烈君 チョット關聯スルノデスガ、今黒田君ノ御質問ノヤウナ不公平ハ、ドウモ不公平ガ起ルコトハ決シテ喜ビマセヌガ、ソレヲ一々言ッテ居ッタナラバ、折角手數ガ省カレテ居ルト云フノニ、ドウモ已ムヲ得ナイカト思フノデアリマスガ、是ハ既ニ多クノ利札ヲ持ッテ來ルヤウナ人ハ、ソレハ必ズ怠ッテ居ナイ、時効完成前ニ取ッテ居ル、斯ウ云フコトガ起ルノハ、多クノ場合極メテ零細ナルモノデアラウト思ヒマス、サウスルト此ノ法律ガ成立シテ公布サレテ施行セラレル間ニ、即チ例ヲ擧ゲテ言ヘバ明日ニモ時効ヲ完成シタル利札ヲ持ッテ來タ場合ニハ、從來ノ例ヲ採ッテ證印ヲシ利札ヲ取上ゲテシマフト云フコトデナク、法律ガ出來マシタラ、ソレカラ持ッテ來テ下サイト云フ親切位ノコトハヤッテヤルノデセウナ

○政府委員(田中豐君) 勿論サウ云フ手配ハ致シテアルノデアリマス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) ソレデハ一應御質疑ガ濟ンダヤウデアリマスガ、尙一應全部前ノ分ニ對シテモモウ御質疑ハゴザイマセヌカ、御質疑ガゴザイマセヌヤウデシタラバ、便宜一括シテ討論ニ入り採決ヲ致シタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセヌカ……ソレナラ一括シテ討論ニ入りマシマス

○河田烈君 私ハ此ノ五案全部賛成致シマス、唯併シ、二點私ノ希望ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ソレハ先刻モ質問致シマシタ帝國鐵道會計法ノ改正ニ關スルモノデ、第一點ハ、此ノ會計法ノ改正ノ仕方ハ、先刻質問中ニモ意見ガマシク申上ゲマ

シタ通りニ、寧ロ逆行シテ居ルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、自體交通省ノ問題ト云フモノハ、是ハ各方面ニ於テ多年主張ガアリ、私モ交通省設置ノ必要ヲ認メマスコトハ公私ノ機會ニ於テ申シテ居ッタノデアリマスケレドモ、ナカ……是ハ色々ナ事情カラ行ハレナカッタ、而シテ今日ノ機運ガ餘リ機構ヲ動かスコトハ好マシカラザル時期ナルニモ拘ラズ、運輸通信省ト云フモノガ出來ルト云フコトニナッタノハ事態ガ茲ニ立至ッタコトト思フノデアリマス、而シテ其ノ運輸通信省ノ機構ト云フモノニ對シテ、政府ノ發表セラレタル所ノモノヲ見マス、運輸通信省ハ我々ガ期待シテ居ルヤウナ交通省トハ非常ニ懸離レテ居ルモノデアリマシテ、満足シ兼ねル點ガアルノデアリマス、併シナガラ兎ニ角ア、云フ、殊ニ此ノ機構ヲ餘リ弄リタクナイ時ニ此處迄思ヒ切ッテ、總理大臣、所謂沿革等ニ因ハレルコトナク、必要ニ應ジテ改正スルト云フ所迄行タト云フコトハ、兎ニ角段々交通省ガ完全ナル交通省、完全ナルト云フト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、完全ナル交通省ノ種ヲ播カレタト云フコトハ喜ブベキ現象デアアルノデアリマス、今日ノ事態、餘リ賛成シナイガ、已ムヲ得ナイト云フ程度カト思フノデアリマス、自體若シ交通省ト云フモノヲ作ル以上ハ、交通ニ關スル行政上ノ監督ト云フモノハ交通大臣ガ之ヲ掌握シテ、帝國ガ經營シテ居ル國有鐵道ト雖モ亦其ノ監督下ノ一營業者トシテ監督ヲ受ケルベキ性質ノモノダト思フノデアリマス、デアリマスカラ、運輸通信省ガ交通省トシテ生レルナラバ、交通大臣ノ下ニ帝國鐵道アリ、通信官署アリ、又民間ノ軌道アリ、民間ノ私設鐵道ア

リ、斯ウ云フコトニナッデ、之ヲ形式的ニ言ヘバ、帝國鐵道ノ現業廳ト云フモノハ交通大臣ノ下ニ國營ノ企業者トナル形ニナラザレバ、本當ノ交通行政ノ一貫ト云フコトハ出來ナイダラウト思ヒマス、一方自分ガ矢張り業者デアリナガラ、國ガヤッデ居ルカラト云フノデ、大キナ額ヲシテ他ノ者ヲ監督スルト云フコトハ、是ハ甚ダ宜クナイ、折角出來ル交通省ノ目的ヲ大半殺グベキコトダト思フ、是ハ私ノ私見デハナイノデアッテ、現ニ國有鐵道ニ從事シテ居ル先輩デモ其ノ議論ヲ強ク主張セラレル方ガ多クアルノデアリマス、デアリマスカラ、願ハクハ運輸通信省ト云フモノハ、唯寄セ集メノモノニ非ズシテ、交通省ト云フモノヲ作ッテ、帝國鐵道ノ現業廳モ其ノ管下ニ入り、監督行政ヲ受ケルト云フ立場ニナルベキダト思フノデアリマス、此處迄沿革ニ因ハレズシテ機構ノ大改正ヲセラレルノデアリナラバ、寄セ集メノ寄木細工ノモノカラ純然タル交通省ニ致サレルコトガ、此處迄出來ルナラ容易ニ出來タデハナイカト云フ憾ミガアリマスケレドモ、是ハ又色々ナ事情ガアッテ御出來ニナラナカッタト思フノデアリマシテ、此ノ場合已ムヲ得ナイカト思ヒマス、其ノ結果ニ於テ其ノ機構ノ建テ方ガ不完全ト言ッタ御叱リヲ蒙ルカ知ラスガ、不徹底、不完全ナル帝國鐵道會計法ノ改正ハ斯ウ云フ風ニシナケレバナラス、私ノ申スヤウニスルナラバ、寧ロ帝國鐵道會計法ノ改正ハ監督行政ヲ全部取上ゲテシマフ改正デアアルベキダト思フノデアリマス、併シソレガ今日ノ此ノ決戰狀態ノ忙ガシイ時ニ於キマシテ其處迄ヤルゴトハ諸種ノ事情カラ出來ナカッタト云フ政府ノ御答辯デアリマスカラ、是ハ

又已ムヲ得ザルモノトシテ諒ト致シマスガ、ドウカ一ツ他日私ガ理想トシテ申上ゲルヤウナ交通省ト云フヤウナモノガ出來、而シテ帝國鐵道會計法ノ改正ガ、其ノ方向ニ於テ改正セラレル機會ノ一刻モ早ク來ラムコトヲ私トシテ希望致ス次第デアリマス、ソレカラ第二點ハ此ノ改正ヲ此ノ程度デ已ムヲ得スト致シマス、此ノ括弧内ノ臨港倉庫ニ依ルモノヲ除クト云フ臨港倉庫ト云フモノノ認定ニ又問題ヲ起シ、今申上ゲク從來ノ鐵道省從來ノ遞信省ト云フモノヲ集メテ來タ所ノ運輸通信省ニナルガ爲ニ、折角運輸通信ノ圓滑ヲ期スル爲ニ一元化シタモノガ、一大臣ノ省内ノ下ニ於テ臨港倉庫ノ認定指定ガ、此ノ前御説明ガアッタヤウニ、畫然ト地域ト云フモノデモナク、地域ノモ加味シ、用途ノニモ加味スルト云フヤウナ、色々ナ點カラ考慮セラレテ指定セラレルコトニナルト、具體的ニ言ヘバ抑、此ノ倉庫ハ鐵道當局ノ管轄下ニアル倉庫カ、或ハ海務當局ノ系統ノ倉庫カト云フ指定ニ手間取ッテ、又茲ニ折角一元化サレタ所ノ行政機構ノ改革ト云フモノガ、臨港倉庫ノ定義如何ガ多少ハッキリシナイ所カラ、折角ノ機構改革ノ效果ヲ十分擧ゲ得ラレナイト云フコトニナルト、倉庫業者、倉庫ヲ利用スル所ノ運輸業者ハ非常ニ迷惑スルト思ヒマス、ドウカ其ノ點ハ一ツ十分渾然ト御運用ニナッテ、サウ云フ弊ノ起ラナイヤウニシテ、速カニ指定セラル、コトヲ今カラ望ンデ置ク次第デアリマス、此ノ二點ヲ私ノ希望ト致シマシテ、今日ノ場合此ノ程度ハ已ムヲ得ナイト云フ政府ノ説明ヲ諒ト致シテ贊成致ス次第デアリマス

テ事務ヲ簡捷化シ、且滑ラカノ運用ヲヤル上カラ、此ノ五案共尤モナ法律案ト考ヘマスノデ、全部同意ヲ表シマスガ、唯一點先刻入江委員ノ質疑ガアリマシタ無記名公債ノ取扱ニ付テ、將來省令等ヲ御出シニナル際一ツ同氏ノ述ベラレタ弊ニ陷ラスヤウニ十分ノ御注意ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 外ニ御發言ゴザイマセスカ、ソレデアリマスレバ採決ヲ致シマス、此ノ五案共政府原案通り可決スベキモノナリト決定致スコトニ御異存アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 然ラバ左様決定致シマス、是ニテ本委員會ハ終了致シマシタ、御苦勞様デゴザイマシタ

午後六時二十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長	男爵深尾隆太郎君
副委員長	子爵裏松 友光君
委員	侯爵井上 三郎君
	侯爵四條 隆德君
	伯爵堀田 正恒君
	子爵松平 親義君
	入江 貫一君
	三井清一郎君
	河田 烈君
	男爵島津 忠彦君
	黑田 英雄君
	西野 元君
	竹下 豐次君
	柴田兵一郎君

政府委員

大藏次官	谷口 恒二君
------	--------

大藏省主計局長 植木庚子郎君
大藏省主稅局長 松隈 秀雄君
大藏省理財局長 田中 豐君
大藏書記官 窪谷 直光君
鐵道監 平山 孝君